

DURC

WILD ROVER CREW vol.029



2021.11-2022.11

舟漕

同志社大学
体育会ボート部



02 戦績ハイライト

- 02. 第6回西日本選手権大会
- 07. 2021年度関西選手権および寺浜杯
- 12. 第99回全日本選手 兼 第48回全日本大学選手権大会
- 17. 第32回関西学生秋季選手権特別代替大会

DURC TOPICS 2021

19 東京五輪 ニュージーランド代表選手団が瀬田で事前合宿

20 OBインタビュー

～勝ちや目標はボートを楽しむその先にある
西村 雅親 先輩(令和4年卒)

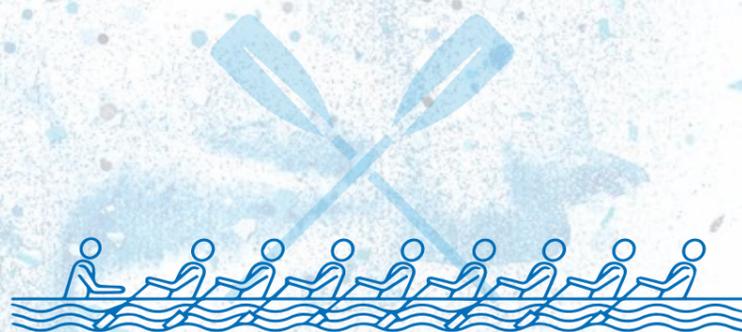
25 卒業生の言葉

33 2022年度 現役部員紹介

38 コーチングスタッフ紹介

41 令和3年度 ボート部にご支援いただいた皆さま

42 編集後記



ふところが、寒いんです。

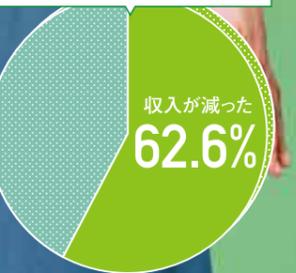


退院しても、ピンチはつづく？

14日以上20日未満の入院をされた方にお伺いしたところ・・・

約6割の方が入院前よりも収入が減少

入院前後での収入の変化



※傷病手当金等の公的保障については、考慮していません。出典：ニッセイ基礎研究所「2020年度長期入院経験者に関する調査」より計算

2週間以上入院が継続した場合の収入減少に備える保険。

ニッセイ みらいのカタチ

4X NEW1

入院継続時収入サポート保険

当資料に記載のデータについては、あくまでも出典元からの引用によるものであり、当社の保険商品の支払事由とは異なります。ご検討にあたっては、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり-定款・約款」を必ずご確認ください。

(注) 日本21-2600.21/7/2,業務部

レースNo.35 決勝 15:36発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
3		
①	大阪府立大学 鷹輝	7:42.49
4		
②	同志社大学 A	7:50.09
5		
③	大阪市立大学 勇	7:57.55
2		
④	大阪大学 蜻蛉	8:01.57

西日本選手権大会準優勝

レースNo.17 予選2組 11:35発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	大阪府立大学 鷹輝	6:37.76
5		
②	同志社大学 A	6:39.98
2		
③	大阪大学 蜻蛉	6:52.46
3		
④	大阪市立大学 紅朝	7:10.09

予選では、楽にスタートを乗せることができたが常に府大と競っている状態で、スタートをずっとかけるレース展開となった。ラスト300m程まで並んでいたが、ずっと競っていたため、ラストを思うようにあげられず、そのまま2位でのゴールとなった。決勝ではかなりのラフコンで、クルー全体としては水中主体でレースを行った。スタートは1位だったが、経験値の差が出てしまい、じわじわと離されていき、2位でのゴールとなった。

男子 舵手つき フォアA

- C:細川 奈央(政策4・関西大倉)
S:常藤 壮人(社3・清教学園)
3:柿山 弘樹(法3・住吉)
2:島村 昂希(商1・熊本学園大学付属)
B:大賀 拓人(理工4・同志社香里)

男子 舵手つき フォアB

- C:山本 歩武(法3・育徳館)
S:堀 啓造(経済4・金光学園)
3:中村 柁道(文情2・須磨東)
2:片山 夏貴(政策3・追手門学院)
B:永松 サムエル(経済3・暁星)

若いクルーではあったが2レースともしっかりと勝利を収め、結果として全体5位という成績を残すことができた。また、2レースとも違った展開で勝利を収めることができたので下回生はこの経験を糧に次の大会でも活躍してほしいと思う。しかし、まだ力不足な部分は全員あるので関連までに各々レベルアップに励みたい。



戦績 ハイライト

2021.4
↓
2021.11



- S:安藤 亮裕(政策4・同志社香里)
3:神垣 忠政(経済3・桃山学院)
2:磯本 迅汰(社3・平城)
B:高木 栄次(法4・高松西)

レースNo.20 予選1組 11:50発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	同志社大学	6:42.78
3		
②	瀬田 RC・品川	6:43.70

瀬田ローに負けて2位になりました。敗因としては強風の状況でフラッシュを保ってまっすぐ進める技術と知識を持っていなかったことが大きいと感じています。

レースNo.38 決勝 16:00発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	瀬田 RC・品川	7:54.61
3		
②	同志社大学	8:02.44

西日本選手権大会準優勝

シリウスに比べエルゴ値が低かったため、シリウスに勝つには4人の漕ぎをどれだけ統一できるかが重要だった。3回生からも意見を言い、それを4回生が取り入れて、結成当初に比べると艇も進むようになった。結果は負けましたが、クルーとしては大きく成長できた。

男子 クォドルプルB

- S:上島 勇太郎(文3・鹿児島)
3:沖中 朋也(商4・東海大学付属大阪仰星)
2:神田 成仁(経済3・徳山)
B:伴 航平(理工4・千里)

レースNo.34 決勝 15:28発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
3		
①	同志社大学 A	7:59.18
4		
②	同志社大学 B	8:22.36

西日本選手権大会準優勝

レースNo.14 予選2組 11:20発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	大阪工業大学 重吹	6:31.05
3		
②	大阪大学 白鳳	6:32.91
2		
③	同志社大学 B	7:09.15

レースNo.28 順位決定戦B組 14:26発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
3		
①	同志社大学 B	7:56.38
4		
②	大阪工業大学 Allegro	7:58.50
2		
③	大阪市立大学 紅朝	8:06.24

レースNo.19 予選1組 11:45発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
2		
①	同志社大学 B	7:08.67
3		
②	大阪工業大学 Pegasus	7:34.63



男子 クォドルプルA

- S:岡部 哲斉(商3・熊本学園大学付属)
3:遠藤 寛昌(スポーツ3・広島観音)
2:市川 巧真(社4・千種)
B:大橋 吟次(理工3・彦根東)

レースNo.15 予選2組 11:25発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	同志社大学 (男子エイト)	6:11.05
2		
②	同志社大学 A	6:33.64
3		
③	関西学院大学	6:58.58

レースNo.34 決勝 15:28発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
3		
①	同志社大学 A	7:59.18
4		
②	同志社大学 B	8:22.36

西日本選手権大会優勝

今回のレースでは自分たちの技量のなさを痛感させられた。決勝は強風が吹き荒れる中で、理想の漕ぎを共有していたにも関わらず、その漕ぎを実現できなかった。一方で、予選はほぼ無風の中で練習よりも良いタイムを出すことができたので、予選で感じた伸びしろ、決勝で経験した悔しさを忘れずに、関戦インカレに向けて練習していく。

レースNo.15 予選2組 11:25発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
4		
①	同志社大学	6:11.05
2		
②	同志社大学 A (クォドルプル)	6:33.64
3		
③	関西学院大学	6:58.58

レースNo.37 決勝 15:52発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
3		
①	同志社大学	7:04.55
4		
②	大阪工業大学 重吹	7:09.90
5		
③	関西学院大学	7:28.26
2		
④	大阪大学 白鳳	7:28.61

西日本選手権大会優勝

8人の動きを合わせるという基本には、スタートで相手よりも出られ、大きく差をつけ、中盤で集中力を欠くことなく進められました。決勝では逆風のラフコンディションに影響を受け、その中の漕ぎが課題となりましたが、要所でスタートをかけた粘り強く進めて勝つことができました。まだまだ対校として粗い漕ぎではありますがさらにユニフォームを確立し、同志社史上最速エイトになります。



男子エイト

- C:内山 碧(スポーツ3・浜松北)
S:岡本 登(法3・海部)
7:落合 航大(法3・同志社国際)
6:黒須 脩太(経済4・真岡)
5:小森 一毅(経済3・同志社)
4:福條 武琉(商2・洲本)
3:林 颯一郎(社2・東山)
2:安陵 将太郎(商1・清風)
B:西村 雅親(社4・膳所)

第6回
西日本選手権大会
2021年4月24日 於・大阪府立漕艇セシタ



男子ペア

S:小島佑太(商4・熊本学園大学付属)
B:三沢康太郎(法3・佐野日本大学)

初のペアということから作り上げたクルーでした。練習時から勝ちたい気持ちが強く、効率良くどんどん上達していくのがわかりました。予選は何度かミスオールしたこともあり1位ではなかったもののギリギリのレースでした。決勝は自艇集中で普段通りの力を出せば勝てると思っていたので、落ち着いて漕ぐことを課題として挑んだ結果、大差をつけて優勝できました。ペアでの経験を活かし、残りのレースでも圧倒的なレースをします。

男子ダブルスカル

S:藤木 貴也(スポ健3・桐蔭)
B:福味 孝太郎(心理1・済々黈)

今大会では練習期間であまり出せなかったSR34をどういうわけか余裕を持って出すことができた。個人的にはスタートのリズムからうまくコンスタントに持っていたのが要因なのではないかと考えている。レースに関しては予選、決勝とスタートから全艇を視界にいれて漕ぐことができたので、自分たちの漕ぎに意識を向ける余裕ができたため、多少の蛇行はしたが、練習してきたことを出し切れた。



男子シングルスカルC

西出 捷人
(理工4・同志社)

力が奪われてしまった。1200地点からはスタートでペース・レートを出し過ぎたこと、強調を繰り返したことで、ブイに接触したことから貧血のような状態になってしまった。第4クォーターで巻き返せる状態にもなく、そのままズルズルとゴールしてしまっただけ。2本目は疲れから力が抜け、落ちて漕げた。ラフコンでやはり蛇行はあったが、1本目よりもストロークずつ漕ぐことができた。エルゴ値(体力)をつけて、スタートから落ち着いて漕げたらもうと違う結果になっていたと思う。

エルゴ値の低さを痛感した。1000mまではレートも32以上キープでき、トップ争いをするのができた。第2クォーターから蛇行し、強調を繰り返して体調を戻した。

男子シングルスカルD

高木 歩真
(神3・岡崎城西)

1レース目はスタートから積極的に漕ぐことができた。順風で波もなかったことで、ミスも少なく漕ぎきれた。コンスタントのパワーが課題。2レース目はかなりの逆風で全く漕げなかった。もっとキヤッチで艇を進められるようにしたい。前回の西日本選手権よりもタイムも内容も良くなった。2000m8分切れるように練習していきたい。

レースNo.23 順位決定戦B組 13:46発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	土山尚人 (丸山川城崎ローイングクラブ)	3 8:56.32
2	菊川直樹 (大阪大学 黒賊)	4 9:08.86
3	岡澤秀樹 (近畿大学)	5 9:14.12
4	野口淳司 (大阪大学 竜胆)	2 9:33.62
5	高木歩真 (同志社大学 D)	1 9:58.13

レースNo.13 予選4組 11:05発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	藤森匠 (大阪市立大学 B)	3 7:54.94
2	高木歩真 (同志社大学 D)	4 8:13.64
3	庄野武洋 (大阪府立大学 槍輝)	5 8:25.52
4	西出捷人 (同志社大学 C)	1 8:47.44
5	横瀬奨真 (追手門学院大学)	2 9:43.25

レースNo.21 順位決定戦D組 13:30発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西出捷人 (同志社大学 C)	4 9:18.03
2	キャメロン グレン	3 10:09.48
3	横瀬奨真 (追手門学院大学)	5 11:03.23
4	大江彰紀 (同志社大学 E)	2 DNS

レースNo.13 予選4組 11:05発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	藤森匠 (大阪市立大学 B)	3 7:54.94
2	高木歩真 (同志社大学 D)	4 8:13.64
3	庄野武洋 (大阪府立大学 槍輝)	5 8:25.52
4	西出捷人 (同志社大学 C)	1 8:47.44
5	横瀬奨真 (追手門学院大学)	2 9:43.25

レースNo.31 決勝 13:04発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	3 7:57.28
2	追手門学院大学 A	4 8:11.87
3	大阪大学 雷神	2 8:21.08
4	大阪工業大学 Galaxy II	5 8:37.79
5	大阪大学 風神	1 9:18.23

レースNo.5 予選3組 10:25発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	3 7:00.39
2	追手門学院大学 A	2 7:13.79
3	大阪大学 雷神	1 7:16.24

レースNo.32 決勝 15:12発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	3 9:32.96
2	大阪市立大学 志	4 9:48.71
3	大阪市立大学 C	2 10:03.08
4	九州大学	5 10:08.94
5	大阪市立大学 克登	1 10:34.33

レースNo.7 予選2組 10:35発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	3 7:29.63
2	大阪市立大学 志	1 7:33.11

女子ダブルスカルA

S:奥林 涼菜(理工4・太田女子)
B:石川 裕希乃(スポ健4・箕面)

予選ではスタートで大きくミスをしてしまい、追いかける展開となった。しかし、粘り強く勝負し、最終的には相手を差して1着でゴールすることができた。決勝ではスタートは並んだものの、早めに勝負を仕掛けることで序盤から相手をリードすることができた。最後まで競り続けたが、強みであるラストスパートでの爆発力を活かし、1位を守り切ることができた。ここから関西選手権、インカレに向けてさらに成長していきたい。

レースNo.8 予選1組 10:40発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 A	3 7:45.81
2	同志社大学 B	5 7:48.39
3	大阪市立大学 冠	2 7:51.62
4	関西学院大学 B	4 8:39.38
5	九州大学 (OP)	1 9:03.81

レースNo.33 決勝 15:20発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 A	3 9:07.69
2	同志社大学 B	4 9:09.22
3	同志社大学 C	5 9:21.96
4	大阪市立大学 冠	2 9:22.93
5	関西学院大学 A	1 10:18.61

西日本選手権大会優勝

男子シングルスカルE

大江 彰紀
(スポ健3・仙台第一)

大会直前になって急遽出場が決まったため、準備期間がほとんどない中での大会だったが、それを差し引いても満足できる結果ではなかった。しかし、今回のレースで浜寺のコースとシングルでの2000mレースを初めて経験できたことは良かったと思う。この経験を次に生かしていくためにも、エルゴのタイムと乗艇技術の向上を目指して日々の練習に取り組んでいきたい。

レースNo.21 順位決定戦D組 13:30発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西出捷人 (同志社大学 C)	4 9:18.03
2	キャメロン グレン	3 10:09.48
3	横瀬奨真 (追手門学院大学)	5 11:03.23
4	大江彰紀 (同志社大学 E)	2 DNS

レースNo.12 予選3組 11:00発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西口裕生 (九州大学)	4 7:51.46
2	土山尚人 (丸山川城崎ローイングクラブ)	3 7:59.20
3	菊川直樹 (大阪大学 黒賊)	5 8:07.36
4	野口敦司 (大阪大学 竜胆)	1 8:07.92
5	大江彰紀 (同志社大学 E)	2 9:17.32

レースNo.22 順位決定戦C組 13:38発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	庄野武洋 (大阪府立大学 槍輝)	3 8:07.36
2	井本太 (同志社大学 B)	4 8:07.92
3	石川修司 (魚崎ローイング)	5 8:13.43
4	新井裕樹 (大阪市立大学 C)	2 8:13.43
5	松川知生 (同志社大学 A)	1 8:40.32

※機械不良のため、ゴールタイムなし

レースNo.10 予選1組 10:50発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	岡田遼太 (三重選抜)	4 7:15.71
2	山口将平 (瀬田漕艇クラブ)	1 7:55.42
3	井本太 (同志社大学 B)	3 8:35.40
4	キャメロン グレン	5 8:47.28

スタートでの出遅れ・ラフコンへの対応不足が敗因になった。スタートの強化、ラフコンへの対応(主に向かい風)はフィジカルの強化で補いたい。

男子シングルスカルA

松川 知生
(経済3・同志社国際)

男子シングルスカルB

井本 太
(文4・筑紫丘)





男子エイト

- C:内山 碧(スポ健3・浜松北)
 S:岡本 登(法3・海部)
 7:林 颯一郎(社2・東山)
 6:黒須 脩太(経済4・真岡)
 5:小森 一毅(経済3・同志社)
 4:磯本 迅汰(社3・平城)
 3:島村 昂希(商1・熊本学園大学付属)
 2:福條 武琉(商2・洲本)
 B:落合 航大(法3・同志社国際)

2021年度
関西選手権および浜寺杯
 2021年7月3日〜4日 於大阪府立漕艇センター

レースNo.78 決勝 12:40発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	6:10.98
2	一橋大学	6:11.36
3	大阪大学	6:26.19
4	龍谷大学	6:27.87
5	関西大学	6:30.49
6	神戸大学	6:41.22

関西選手権優勝

レースNo.32 予選1組 12:40発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	6:23.87
2	龍谷大学	6:27.59
3	大阪大学	6:31.27
4	関西学院大学	6:47.91
5	大阪工業大学	7:07.09

予選から強みであるコンスタント力を活かして、勝ち上がることができました。決勝では、一橋大学にスタートで出られましたが、c o xの内山の好判断となり、スパートを合わせられたため、一橋大学を差すことができました。インカレでは、課題であるスタートスパートのスプリントを高め、相手をリードできるような展開力を身につけていきたいと思えます。関西選手権はあくまで全日本大学選手権の前哨戦であり、ここから本場の戦いだと思えます。9人で力を合わせ、更なる高みを目指し、同志社最速のエイトそして日本一に向かって突き進みます。



男子フォア

- S:三沢 康太郎(法3・佐野日本大学)
 3:中村 柁道(文情2・須磨東)
 2:神垣 忠政(経済3・桃山学院)
 B:安藤 亮裕(政策4・同志社香里)

レースNo.56 予選1組 8:52発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	京都大学	6:49.93
2	同志社大学	6:51.50
3	立命館大学	7:20.69

レースNo.73 決勝 11:50発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	京都大学	6:47.57
2	同志社大学	6:56.59
3	立命館大学	7:04.62

関西選手権準優勝

自分たちの強みであるコンスタントでしっかり京大についていくことができ、上げどころでしっかりペースをあげることができた。しかし、スタートで自分たちの漕ぎができたが京大と立命館に出られたので、まだまだ実力が足りないことを実感したので、インカレまでの2カ月でその辺りを改善していきたい。



男子舵手つきフォア

- C:細川 奈央(政策4・関西大倉)
 S:大賀 拓人(理工4・同志社香里)
 3:西村 雅親(社4・膳所)
 2:安陵 将太郎(商1・清風)
 B:常藤 壮人(社3・清教学園)

レースNo.74 決勝 12:00発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	6:51.00
2	三重選抜	6:53.54
3	一橋大学	7:01.71
4	大阪府市立大学 勇	7:08.21
5	神戸大学	7:11.10
6	京都大学	7:18.93

関西選手権優勝

レースNo.29 予選1組 12:16発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学	7:14.66
2	大阪府市立大学 勇	7:36.51
3	京都大学	7:36.71
4	龍谷大学	7:39.22
5	広島大学	7:49.56
6	大阪府立大学 鷹輝	棄権

コンスタントに船を進め続けられることがこのクルーの強みだったのではないかと感じた。今回、関東の大学や国体の選抜チームと戦い、勝ち抜いて優勝したことでインカレに向けて自信を持つことができた。まだまだ突き詰められるところがたくさんあるのでインカレまでに突き詰めていきたい。

レースNo.33 決勝 15:20発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 A	9:07.69
2	同志社大学 B	9:09.22
3	同志社大学 C	9:21.96
4	大阪府市立大学 冠	9:22.93
5	関西学院大学 A	10:18.61

西日本選手権準優勝

レースNo.8 予選1組 10:40発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 A	7:45.81
2	同志社大学 B	7:48.39
3	同志社大学 C	7:51.62
4	関西学院大学 B	8:39.38
5	九州大学 (OP)	9:03.81

レースNo.33 決勝 15:20発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 A	9:07.69
2	同志社大学 B	9:09.22
3	同志社大学 C	9:21.96
4	大阪府市立大学 冠	9:22.93
5	関西学院大学 A	10:18.61

西日本選手権3位入賞

レースNo.9 予選2組 10:45発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	同志社大学 C	8:00.10
2	関西学院大学 A	8:19.32
3	大阪大学 飛瑞	8:22.53
4	大阪府市立大学 あやめ	8:44.86

レースNo.30 決勝 14:48発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	9:15.63
2	湯浅萌映子 (大阪府立大学)	9:44.40
3	清水彩夏 (同志社大学 A)	9:45.58
4	嶋美陽 (瀬田漕艇倶楽部 A)	10:06.12
5	落合陽乃花 (同志社大学 C)	10:22.14

西日本選手権3位入賞

レースNo.2 予選2組 10:05発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	7:59.48
2	清水彩夏 (同志社大学 A)	8:30.49
3	三島杏夏 (瀬田漕艇クラブ)	8:41.57
4	繁美雪 (大阪府立大学 A)	8:47.66

レースNo.24 順位決定戦B組 13:54発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	繁美雪 (大阪府立大学 A)	9:57.61
2	三島杏夏 (瀬田漕艇クラブ B)	10:04.46
3	松元遥香 (同志社大学 B)	10:25.86
4	刀祢響子 (大阪大学)	10:27.60

西日本選手権5位入賞

レースNo.1 予選1組 10:00発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	湯浅萌映子 (大阪府立大学)	8:24.28
2	嶋美陽 (瀬田漕艇クラブ A)	8:27.19
3	落合陽乃花 (同志社大学 C)	8:35.22
4	刀祢響子 (大阪大学)	8:53.21
5	松元遥香 (同志社大学 B)	9:00.70

レースNo.30 決勝 14:48発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	9:15.63
2	湯浅萌映子 (大阪府立大学)	9:44.40
3	清水彩夏 (同志社大学 A)	9:45.58
4	嶋美陽 (瀬田漕艇倶楽部 A)	10:06.12
5	落合陽乃花 (同志社大学 C)	10:22.14

西日本選手権5位入賞

レースNo.1 予選1組 10:00発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	湯浅萌映子 (大阪府立大学)	8:24.28
2	嶋美陽 (瀬田漕艇クラブ A)	8:27.19
3	落合陽乃花 (同志社大学 C)	8:35.22
4	刀祢響子 (大阪大学)	8:53.21
5	松元遥香 (同志社大学 B)	9:00.70

予選ではスタートが丁寧な決まり、強みである高レートで最後まで漕ぎ通せた。レースアップの段階で、落としすぎずにコンスタントに入るという戦略を立て、本番でも2人でそれができたのも自信になった。決勝では特に後半で食らいつき勝負できた。改善点としては蛇行による減速、ラフコンにおけるミスオールの多さ、何より単純な一本の出力の足りなさが挙げられる。今後一層課題と向き合い、次は何としても勝ち切る。

今回のレースでは目標であった9分を切ることはできず、また勝負感を感じ出すことができた。まだまだ漕ぎの技術や体力面が不足していると感じたので、キャッチ周りを上達させること、筋量を増やすことを中心に努めていきたい。大学最初のレースでいいスタートを切れたので、今後につなげるようモチベーションを下げずに活動していきたい。

今回の大会を通して、一本で進める力が劣っていることが浮き彫りになった。これは、乗艇技術はもちろんだが、エルゴ値の差が大きいと感じたので、陸上でのトレーニングにも真摯に向き合っていきたい。ラストシリーズなので、今回の課題を元に後悔のないよう努力をしたい。

今回の大会では、予選で目標を達成できたけど改めて自分の体力のなさを実感した。自分の得意なスタイル、500mまでのリズムは良かったけど、そこから疲れ始めてきてレートが遅くなり、上体も倒れすぎになってしまった。この試合の反省から、自主練習期間にエルゴで体力を少しでも戻し、フィニッシュを倒しすぎないようにするために体幹を鍛えるようにする。



S:山本 紗奈(社4・同志社女子)
 B:石垣 愛衣(商4・本社)

女子ダブルスカルB

女子ダブルスカルC

女子シングルスカルA

女子シングルスカルB

清水 彩夏 (社1・吉田)

松元 遥香 (スポ健4・鹿児島)

落合陽乃花 (グロ地1・彦根東)

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	大阪工業大学	7:38.62
②	同志社大学 C	7:42.03
③	九州大学	7:51.65
④	大阪府立大学	7:55.22
⑤	滋賀大学	7:59.63

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	立命館大学	8:30.67
②	京都大学 A	8:34.62
③	同志社大学 C	8:45.36
④	大阪市立大学 A	8:48.61
⑤	大阪府立大学	9:00.59

【予選】スタートで立命に出られるが、1艇身差で京大Aと並び2位につけ、1000mまで順調に進めた。しかし、疲れと練習でも懸念されたタイミングの差やパウサイ側の押し込みの弱さで艇をたたせることができず、パウサイオールが終始擦る形で艇速が落ちていき、段々と立命と京大に差をつけられ予選3位で敗者復活にまわった。

男子ペアC

S:西出 捷人(理工4・同志社)
B:永松 サムエル(経済3・暁星)



順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	立命館大学	6:42.74
②	同志社大学	6:52.18
③	龍谷大学	6:55.98
④	大阪大学	7:18.43
⑤	岐阜大学	7:21.49
⑥	瀬田漕艇クラブ	7:24.63

関西選手権準優勝

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	立命館大学	6:56.19
②	同志社大学	7:11.12
③	瀬田漕艇クラブ	7:45.54
④	名古屋大学	8:33.97

男子クオドルプル

S:岡部 哲斉(商3・熊本学園大学付属)
3:藤木 貴也(スポ健3・桐蔭)
2:遠藤 寛昌(スポ健3・広島観音)
B:大橋 吟次(理工3・彦根東)

1日目の予選を終え全体タイムは3位。2位の龍谷大学とは7秒差であり、決勝はスタートからMAXで攻めて競る展開に勝つていこうと試みた。その結果偶然ではあったが龍谷大学がスタートスパイト中に腹を切り、そこで2艇身程のリードを取ることができ、その差を保ったまま2位でゴールした。下馬評では自分達は3位でありそこを覆して準優勝できたことは率直に嬉しい。しかし立命館大学には姿を見ることなく負けてしまったので自分たちの実力のなさを痛感した。自分たちに足りないものは理解している。この結果に満足することなく、2カ月後のインカレで納得のいく結果を出せるよう努力を続けていこうと思う。

男子ダブルスカルB

S:上島 勇太郎(文3・鹿児島)
B:福味 孝太郎(心理1・済々黴)



順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	今治造船	7:24.64
②	瀬田漕艇クラブ	7:31.75
③	関西大学 A	7:32.17
④	同志社大学 B	7:42.29
⑤	追手門学院大学 A	7:45.32

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	龍谷大学 B	7:56.96
②	同志社大学 B	8:01.66
③	滋賀大学 A	8:20.80
④	南山大学 A	8:37.48
⑤	関西学院大学	9:07.07
⑥	広島大学	9:13.07

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	追手門学院大学 A	7:36.55
②	南山大学 A	7:43.06
③	同志社大学 A	7:59.64
④	滋賀大学教育学部青波	8:08.39
⑤	大阪市立大学 A	8:20.81
⑥	大阪工業大学	8:43.62

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	立命館大学	7:27.12
②	京都大学	8:00.42
③	近畿大学	8:18.24
④	同志社大学 A	8:28.04
⑤	大阪市立大学 B	8:40.85
⑥	関西大学	8:44.84

男子ダブルスカルA

S:井本 太(文4・筑紫丘)
B:沖中 朋也(商4・東海大学付属大阪仰星)



今回のレースでは風が逆に吹いていて自分たちは逆の時の方が漕げるので技術的には漕げていたと思う。予選のレースでは2着を狙ったレース展開だったが途中から3着を狙ったレース展開に変えたが結果4着で終わってしまった。敗復ではタイム的には上がれる組み合わせで序盤で初めの方から足蹴りをけっこう入れて1600くらいで1回差したがパイパコからの腹切で負けてしまった。この大会が最後のレースになったが2人ともしっかりと力を出し切れて終わったので良いレースになったと思う。

1レース目のアップから問題なく行うことができ、2人の調子も良く、動きも合っていた。レース本番では多少波があったが、あらかじめ漕ぎ方を統一していたので問題なく艇を進めることができた。スタートでほぼ全艇に出られたが、200mあたりで落ちてきた。スタートでほぼ全艇に出られたが、そのまま落ちて2着をキープしつつゴールした。敗者復活に行くことなくストレートで準決勝に進むことができたので、1日目のレースは次の日へ体力を温存できた。2レース目は強いと言えはコースを多少蛇行してしまっただけで敗因に関わるが、一番直結したのは単純な技術と艇を進める推進力の差であった。競っていた追手門には勝つことができた。

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	関西大学 A	7:23.91
②	岐阜大学	7:33.66
③	同志社大学 C	7:53.00
④	大阪市立大学 B	7:53.91
⑤	広島大学	8:02.38
⑥	大阪市立大学 C	8:16.22

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	名古屋大学	8:17.65
②	龍谷大学 C	8:36.21
③	南山大学 B	8:45.34
④	同志社大学 C	8:46.22
⑤	大阪市立大学 A	8:47.98

1レース目は、途中から真っ直ぐ進むことができず、コース修正のあいだに差をつけられた。2レース目はコースが外れる前に防ぐことができた。2レース目は、2艇上りに入ることはできなかったが、ラストスパイトで3位になることができた。



男子ダブルスカルC

S:高木 歩真(神3・岡崎城西)
B:神田 成仁(経済3・徳山)

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	7:41.70
②	同志社大学 B	7:54.22
③	立命館大学	7:58.96
④	大阪市立大学 B	8:09.85
⑤	大阪工業大学	8:10.17

関西選手権準優勝

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 B	8:26.76
②	大阪工業大学	8:34.27
③	九州大学	8:44.93
④	京都大学 C	8:59.00

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	7:41.70
②	同志社大学 B	7:54.22
③	立命館大学	7:58.96
④	大阪市立大学 B	8:09.85
⑤	大阪工業大学	8:10.17

関西選手権優勝

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	8:10.11
②	大阪市立大学 B	8:43.42
③	滋賀大学	9:03.33
④	京都大学 B	9:20.59

男子ペアA

S:小島 佑太(商4・熊本学園大学付属)
B:柿山 弘樹(法3・住吉)



西日本に続いて優勝することができました。個人的な目標としては中堅層の技術向上を目的としていました。その中で優勝できたことは自分にとっても、部にとっても大きな成長に繋がったと思います。大会の前日の乗艇ではあまりいい感覚を掴めずに終わりましたが、予選では2位と大きくタイムを空けてゴールし、決勝でもラストで上がりきらなかったものの13秒差を開けてゴールできたので素直に嬉しかったです。でもまだまだ終わらせません。今の同志社の勢いのままインカレでも同志社旋風を巻き起こします。最後の大会に向けてまた準備していきます。

男子ペアB

S:松川 知生(経済3・同志社国際)
B:市川 巧真(社4・千種)



予選では2人とも緊張していたこともあり、とにかく落ち着いて普段の自分たちの漕ぎを貫き通すことを意識して臨んだ。スタートで大工大に並ばれたが、自分たちの強みのコンスタント力で勝負しようとして決めていたので、焦ることなく中盤以降で突き放すことができた。決勝ではライバルの同志社Aと当たった。彼らがスタートに強みを持っていることはわかっていたので、500mは出られてもそれ以降詰めていくプランで臨んだ。しかし、予想以上に初めの段階で離されてしまったため追いつくことができず、2位でゴールした。それでも、目標としていたメダル獲得を達成できたことは嬉しかった。これも厳しい練習を2人で乗り越えてきた賜物だと思う。

レースNo.9 予選1組 9:20発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	谷本美伊菜 (同志社大学 B)	5	9:32.83
2	白石奈緒子 (立命館大学)	3	9:56.36
3	麻植遥伽 (関西大学)	2	10:10.86
4	宇野希美 (名古屋工業大学)	4	10:17.49
5	安永春花 (福岡女子大学)	1	10:32.58

レースNo.63 準決勝1組 10:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	3	9:24.83
2	山本天空 (岐阜協立大学)	4	9:51.22
3	山本紗奈 (同志社大学 A)	1	10:13.11
4	土本菜央 (京都大学)	6	10:22.14
5	白石奈緒子 (立命館大学)	5	10:25.29
6	谷本美伊菜 (同志社大学 B)	2	10:33.76

レースNo.12 予選4組 9:50発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	渡邊夏帆 (トヨタ RC)	3	9:38.28
2	谷口智佳子 (鹿屋体育大学)	2	9:22.38
3	松元遥香 (同志社大学 C)	4	10:10.78
4	萩野愛 (関西学院大学 B)	5	10:46.41

レースNo.39 敗復1組 13:46発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	土居あやめ (南山大学)	3	9:17.61
2	土本菜央 (京都大学)	4	9:22.89
3	井上美久 (堀川高校)	5	9:35.02
4	松元遥香 (同志社大学 C)	2	9:42.15
5	安永春花 (福岡女子大学)	1	10:36.46

レースNo.68 決勝 11:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	同志社大学	2	6:53.09
2	関西大学	3	7:41.48
3	神戸大学	4	7:54.47



女子シングルスカルB
谷本 美伊菜
(スポ健3・同志社)



女子シングルスカルA
山本 紗奈
(社4・同志社女子)

今回の最大の反省点としては技術の定着が至らなかった点だ。風速や流れの変化に対応した技術が習得できなかった。決められた条件下では良い漕ぎをできるようなところが、風や流れでうまく適応できなくなっている。今後の課題点として、風向きや流れの中でどう船が動くのか、どんな動きが船の抵抗につながるのかを体感的に学んでいきたい。良かった点としては、予選の状況ではとても良い漕ぎをできたことだ。船を長く伸ばすことに意識を集中して漕げたと思う。

レースを重ねる毎に、相手やコンディションに応じて自分の漕ぎやプランを客観視し、柔軟に対応することができた。また競った場面でも自分の持ち味である安定感を意識し冷静に進められた。これらの点が、目標にしていた「着レース」と「決勝進出」両方の達成に繋がったと分析している。個人的には1×の集大成ができた大会となった。インカレは4年間注力してきたスカルで出場し、必ず全員で最終日に行く。

レースNo.11 予選3組 9:40発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	二宮由紀子 (今治造船)	3	9:12.08
2	西田雅 (関西学院大学 A)	5	9:36.71
3	土居あや (南山大学)	4	9:42.15
4	山本紗奈 (同志社大学 A)	2	9:44.54
5	井上美久 (堀川高校)	1	10:28.59

レースNo.40 敗復2組 13:56発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	山本紗奈 (同志社大学 A)	3	9:06.06
2	小島のどか (名古屋工業大学 A)	4	9:13.81
3	麻植遥伽 (関西大学)	2	9:21.25
4	宇野希美 (名古屋工業大学 B)	5	9:35.77
5	萩野愛 (関西学院大学 B)	6	9:40.56
6	城田香乃 (関西学院大学 C)	1	10:05.30

レースNo.63 準決勝1組 10:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	3	9:24.83
2	山本天空 (岐阜協立大学)	4	9:51.22
3	山本紗奈 (同志社大学 A)	1	10:13.11
4	土本菜央 (京都大学)	6	10:22.14
5	白石奈緒子 (立命館大学)	5	10:25.29
6	谷本美伊菜 (同志社大学 B)	2	10:33.76

レースNo.77 決勝 12:30発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	西原佳 (プリントバック)	3	8:20.47
2	二宮由紀子 (今治造船)	5	8:34.28
3	渡邊夏帆 (トヨタ RC)	4	8:45.65
4	谷口智佳子 (鹿屋体育大学)	2	8:52.47
5	山本天空 (岐阜協立大学)	1	8:54.52
6	山本紗奈 (同志社大学 A)	6	9:15.23

関西選手権6位入賞



男子シングルスカルB
高木 栄次
(法4・高松西)

レースNo.6 予選6組 8:59発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	木村昌 (日本製鉄)	5	7:51.69
2	山口将平 (瀬田漕艇クラブ)	4	8:16.98
3	高木栄次 (同志社大学 B)	1	8:38.75
4	小林遼太 (名古屋大学)	3	8:48.25
5	荒川健太 (広島大学 B)	2	9:46.61

レースNo.57 準決勝1組 9:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	奥田敏吉 (トヨタ RC)	3	7:47.10
2	原弘務 (鹿屋体育大学 A)	2	7:53.99
3	椎名孝行 (横浜漕艇倶楽部埼玉)	4	7:54.84
4	高木栄次 (同志社大学 B)	5	8:15.46
5	長井康祐 (魚崎 RC)	1	8:22.67

前回の2000tからシングルに乗り関西選手権に挑んだが準決勝敗退という情けない結果に終わった。水陸上共にまだまだ改善できることがあるはずである。レースに関して勝てなかったが、楽しみながら自分の100%を出したことはできた。シングルで得た経験、味わった悔しさをインカレに活かしていきたい。そしてインカレを目標とするメダルを獲得する。

レースNo.37 敗復4組 13:26発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	土山尚人 (円山川城崎 RC)	3	8:21.49
2	高木栄次 (同志社大学 B)	4	8:41.84
3	庄野野洋 (大阪府立大学 槍輝)	5	9:09.96
4	峯尾昂太郎 (南山大学 A)	2	9:22.04
5	山本晴佳 (関西学院大学 B)	1	10:17.74



女子ダブルスカル
S:内田真歩
(スポ健2・新宿)
B:三品真理子
(スポ健4・春日丘)

レースNo.45 敗復2組 14:38発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	大阪市立大学 冠	3	7:59.27
2	神戸大学	5	8:11.00
3	関西学院大学	2	8:11.78
4	同志社大学	4	8:22.46
5	瀬田漕艇クラブ KI	1	8:42.05
6	関西大学	6	8:45.63

レースNo.45 敗復2組 14:38発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	大阪市立大学 冠	3	7:59.27
2	神戸大学	5	8:11.00
3	関西学院大学	2	8:11.78
4	同志社大学	4	8:22.46
5	瀬田漕艇クラブ KI	1	8:42.05
6	関西大学	6	8:45.63

苦手なスタートで出られ、そのまま逃げ切られてしまった反省を生かし、スタートから攻めるレースプランで敗者復活戦に望んだ。プラン通りスタートから攻めて他艇に喰らい付いたが、自分たちが得意とするコンスタント力を発揮しきれなかったこと、また、蛇行をうまく修正することができなかったことにより、予選で勝っていた他大にも負けてしまう悔しい結果となった。ただ、約3カ月間同じクルーで組んでいたこともあり、クルーとしての完成度は高かったと感じる。今後はエルゴ値や体力からもう一度鍛え直す必要がある。



男子シングルスカルA
堀 啓造
(経済4・金光学園)

レースNo.1 予選1組 8:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	奥田敏吉 (トヨタ RC)	5	7:44.62
2	長谷川樹 (大阪市立大学)	4	8:09.14
3	木全良志来 (大阪府立大学 彩鷹)	3	8:18.60
4	長井康祐 (魚崎 RC)	1	8:38.03
5	布目優太 (南山大学 B)	2	9:39.14
6	堀啓造 (同志社大学 A)	6	10:53.53

レースNo.58 準決勝2組 9:10発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	岡本航太郎 (龍谷大学 A)	3	7:51.88
2	中尾俊介 (関西学院大学 A)	4	8:02.70
3	池田晴彦 (滋賀大学教育学部運)	2	8:16.78
4	小林遼太 (名古屋大学)	1	8:29.83
5	堀啓造 (同志社大学 A)	5	8:30.94

レースNo.38 敗復5組 13:36発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	清野雄大 (岡山大学)	3	8:29.83
2	堀啓造 (同志社大学 A)	6	8:38.56
3	長井康祐 (魚崎 RC)	4	8:43.65
4	陶山知明 (協会)	2	8:57.65
5	外山尚直 (岐阜大学)	5	9:03.04
6	横瀬実真 (追手門学院大学)	1	10:38.47

予選では、スタートから相手を見ることができ、落ち着いて自分たちの漕ぎができた。強みである一本で大きく進める漕ぎができたと思う。決勝では、前半500mは競る展開となったが、勝負を仕掛けたところで全員で艇を伸ばすことができたことがよかったと思う。これまでの練習で培ってきたコンスタント力を活かし、最終的には艇身以上の差をつけて優勝することができた。しかし、ターゲットタイムには届かなかった。今回のレースでの課題を克服し、さらにレベルアップして戸田勢とも戦える実力をつけ、インカレに臨みたい。

レースNo.72 決勝 11:40発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
1	同志社大学	3	7:19.63
2	龍谷大学	5	7:26.44
3	関西大学	4	7:27.88
4	名古屋大学	2	7:33.34
5	神戸大学	1	7:44.11
6	大阪大学	6	8:22.81

予選では、スタートから相手を見ることができ、落ち着いて自分たちの漕ぎができた。強みである一本で大きく進める漕ぎができたと思う。決勝では、前半500mは競る展開となったが、勝負を仕掛けたところで全員で艇を伸ばすことができたことがよかったと思う。これまでの練習で培ってきたコンスタント力を活かし、最終的には艇身以上の差をつけて優勝することができた。しかし、ターゲットタイムには届かなかった。今回のレースでの課題を克服し、さらにレベルアップして戸田勢とも戦える実力をつけ、インカレに臨みたい。



女子クオドルプル
S:清水 彩夏(社1・吉田)
3:落合 陽乃花(グロ地1・彦根東)
2:石川 裕希乃(スポ健4・箕面)
B:石垣 愛衣(商4・本荘)




女子シングルスカルC
松元 遥香
(スポ健4・鹿児島)

今シーズンはシングルに乗っていた期間が長く、関西選手権はその集大成のレースとして位置付けていた。予選は確実に3位を取りに行きレースをした。落ち着いて自分の漕ぎができたので、良かったと思う。敗者復活戦では自分自身の調整ミスと暑さにより1000mを過ぎたあたりから体に力が入らなくなり、情けない漕ぎをしてしまった。いくら練習を積むことができて、それを本番で発揮できなかった意味がなく、コンディショニングの重要性を再認識した。残すはインカレのみなので、自分のできる最大限の努力をし、応援して下さる方の期待に応えられるようなレースをしたい。



男子エイト
C:山本 歩武(法3・育徳館)
S:大江 彰紀(スポ健3・仙台第一)
7:加藤 雅隆(社2・名古屋)
6:石田 和己(経済2・同志社)
5:徳永 誠波(スポ健1・広島工業大学)
4:伴 航平(理工4・千里)
3:橋本 直人(スポ健2・高槻)
2:前田 悠太(文情2・高槻)
B:小西 辰弥(法3・報徳学園)



第99回 全日本選手権兼
第48回 全日本大学選手権大会
2021年10月27日(土)〜31日(水) 於・戸田ボートコース

男子エイト

クルーリーダー

黒須 脩太(経済4・真岡)

シート

- C:内山 碧(スポ健3・浜松北)
- S:岡本 登(法3・海部)
- 7:落合 航大(法3・同志社国際)
- 6:福條 武琉(商2・洲本)
- 5:小森 一毅(経済3・同志社)
- 4:磯本 迅汰(社3・平城)
- 3:島村 昂希(商1・熊本学園大学付属)
- 2:黒須 脩太(経済4・真岡)
- B:安陵 将太郎(商1・清風)

使用艇 Wild Rover JOE

Target Time 5:55

目標 A 決勝

意気込み

今シーズンの集大成。
有終の美を飾ります。



同志社最速エイトを目指し挑んだ全日本大学選手権。予選からラフコンディションに見舞われ、トップスピードを維持できずに苦戦を強いられましたが、レース毎に反省を活かして決勝では番のレース展開を魅せることができました。

最後に橋、東京大学を差せなかったのは、根本的にトップスピードが足りなく、完成度の低さが原因でした。日本一を獲るためには、クルーの完成度を完全なものにしなければなりません。後輩達にはさらにレベルアップしてリベンジして貰いたいと思います。

最後になりましたが、OBOGの皆さま、指導陣の方々本当にありがとうございました。今後とも後輩たちへの変わらぬご支援ご声援よろしくお願い致します。

レースNo.138 FinalB組 10:06発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	明治大学	5:54.41	
2	仙台大学	5:55.36	
3	東京大学	6:01.28	
4	一橋大学	6:03.89	
5	同志社大学	6:04.31	
6	東北大学	6:12.08	

レースNo.114 Semi Final B組 11:50発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	NTT 東日本	5:55.47	
2	東レ滋賀	6:03.96	
3	早稲田大学	6:06.18	
4	明治大学	6:08.93	
5	東京大学	6:16.98	
6	同志社大学	6:17.56	

レースNo.87 RepechageB組 14:28発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		2	
1	明治大学	6:20.26	
2	同志社大学	6:31.76	
3	中央大学	6:41.38	

レースNo.45 HeatB 組 14:58発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	明治安田生命	5:50.96	
2	日本大学	5:57.99	
3	明治大学	6:02.72	
4	同志社大学	6:11.29	
5	東京工業大学	6:35.96	

全日本大学選手権8位入賞



男子フォア

クルーリーダー

安藤 亮裕(政策4・同志社香里)

シート

- S:市川 巧真(社4・千種)
- 3:松川 知生(経済3・同志社国際)
- 2:神垣 忠政(経済3・桃山学院)
- B:安藤 亮裕(政策4・同志社香里)

使用艇 Petite et accipietis.

Target Time 6:30

目標 最終日進出

意気込み

4回生はラストレースとして全力を尽くして、3回生は来年に繋がるレースとなるように頑張ります!

レースNo.79 RepechageB組 13:24発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	慶應義塾大学	6:51.10	
2	仙台大学	6:52.72	
3	明治大学	6:55.38	
4	同志社大学	7:16.90	

レースNo.38 HeatC組 14:02発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		5	
1	日本大学	6:38.43	
2	仙台大学	6:38.58	
3	一橋大学	6:42.83	
4	中央大学	6:51.36	
5	同志社大学	7:15.38	



男子舵手つきフォア

クルーリーダー

常藤 壮人(社3・清教学園)

シート

- C:細川 奈央(政策4・関西大倉)
- S:西村 雅親(社4・膳所)
- 3:林 颯一郎(社2・東山)
- 2:常藤 壮人(社3・清教学園)
- B:大賀 拓人(理工4・同志社香里)

使用艇 Veritas liberabit vos.

Target Time 6:35

目標 優勝

意気込み 全力で頑張ります



男子クオドルプル

クルーリーダー

高木 栄次(法4・高松西)

シート

- S:岡部 哲斉(商3・熊本学園大学付属)
- 3:高木 栄次(法4・高松西)
- 2:神田 成仁(経済3・徳山)
- B:大橋 吟次(理工3・彦根東)

使用艇 Wild Rover YAMATO

Target Time 6:20

目標 入賞

意気込み ぶちかます

レースNo.42 HeatC組 14:34発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		5	
1	トヨタ紡織	6:41.56	
2	NTT 東日本	6:45.02	
3	東レ滋賀	6:52.91	
4	東北大学	6:57.14	
5	同志社大学	7:00.90	
6	大阪市立大学	7:15.49	

レースNo.82 RepechageA組 13:48発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	日本大学	6:47.57	
2	日本体育大学	6:51.34	
3	同志社大学	6:58.38	
4	法政大学	7:06.52	
5	大阪市立大学	7:10.29	

レースNo.124 Semi Final C組 12:40発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	同志社大学	7:07.85	
2	神戸大学	7:09.82	
3	法政大学	7:09.98	
4	慶應義塾大学	7:10.63	
5	大阪市立大学	7:17.49	
6	東京経済大学	7:20.26	

全日本大学選手権8位入賞

レースNo.31 タイムトライアルA組 13:06発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		2	
1	龍谷大学	6:26.07	
2	立命館大学	6:29.33	
3	京都大学	6:47.27	
4	京都大学医学部	6:48.32	
5	同志社大学	6:54.99	
6	筑波大学	7:06.96	

レースNo.76 HeatC組 13:00発艇

順位	クルー	レーン	2000mタイム
		3	
1	富山国際大学	6:20.32	
2	東京経済大学	6:23.06	
3	慶應義塾大学	6:35.69	
4	法政大学	6:49.38	
5	同志社大学	6:57.99	
6	東京大学	7:02.50	

満足に練習できる期間が少ない中、4回生の意地と下回生の成長により、全日本大学選手権で8位入賞することができました。4回生はラストレースC決勝1着で終わられ、下回生は次に繋がる大会でした。

大会前日 タイムトライアル順位

1	日本大学	6:46.29	17	京都大学	7:02.91
2	中央大学	6:46.73	18	滋賀大学	7:05.23
3	仙台大学	6:50.06	19	大阪工業大学	7:06.16
4	慶應義塾大学	6:51.97	20	北海道大学	7:07.35
5	龍谷大学	6:54.29	21	富山国際大学	7:08.54
6	東北大学	6:55.04	22	関西大学	7:09.01
7	明治大学	6:56.28	23	大阪大学	7:10.65
8	学習院大学	6:56.42	24	広島大学	7:12.51
9	日本体育大学	6:57.88	25	関西学院大学	7:12.96
10	一橋大学	6:58.61	26	早稲田大学	7:14.59
11	法政大学	6:58.75	27	成蹊大学	7:15.83
12	同志社大学	6:59.82	28	小樽商科大学	7:16.78
13	東京経済大学	7:01.60	29	名古屋大学	7:20.32
14	神戸大学	7:01.71	30	東京大学	7:22.18
15	立教大学	7:01.71	31	成城大学	7:42.86
16	大阪市立大学	7:02.72			

レース内容としては実力不足が顕著に出た2レースとなった。スタートからトップスピードがあまり出ることがなく、各スパートで揃った時にやっと他艇のコンスタントペースくらいであったと感じた。クルー全員のポテンシャルを考えるともっと戦えたはず。戸田と比べて漕ぎ込みがまだまだ足りなかった。しかし、クルーの成長速度および雰囲気は最も良かった。3回生漕手の今後の成長に期待したい。



歴も浅く、練習を見る限り自分が挑戦者であることは確かであったため、緊張はなかった。スタートと同時に他に出られたが、横目で2艇が確認できる4着でスタートした。700mまで同じ艇差でつけたが、ブイにオーリングが当たり、そこから漕ぎが崩れ立て直すことに時間がかかった。最終的に4着でゴールし、敗退となった。

男子 シングル スカル

永松 サムエル(経済3・暁星)

使用艇 Invictus

Target Time 7:55

目標 タイムトライアル突破

意気込み

初戸田で名前響かせます。



関西選手権を優勝し、良い流れに乗ったまま気持ち高め、戸田に入った。しかし、戸田の感覚を掴みきれないままインカレが始まってしまった。瀬田での練習では良いものが出ていたにも関わらずインカレで発揮できないのは、平日頃からどれだけレースを想定して練習できたかが大事だと感じた。結果は良いものではなかったが、クルーにとっても、同志社にとっても良い経験になったと思う。

男子ペア

クルーリーダー

小島 佑太(高4・熊本学園大学付属)

シート

S:小島 佑太(高4・熊本学園大学付属)

B:柿山 弘樹(法3・住吉)

使用艇 Alpheus Hardy

Target Time 7:20

目標 優勝

意気込み 攻め続けま

1	遠山 秀雄 (日本体育大学)	7:22.00
2	福井 康 (仙台大学)	7:24.99
3	小野田 空羽 (松江工業高等専門学校)	7:27.58
4	菅原 陸翔 (日本大学)	7:32.12
5	田村 哲平 (愛媛大学)	7:32.65
6	渡辺 龍一郎 (富山国際大学)	7:32.80
7	岡本 航太郎 (龍谷大学)	7:32.96
8	武岡 大雅 (慶應義塾大学)	7:34.52
9	宮澤 翔也 (東海大学)	7:38.52
10	安藤 辰海 (成城大学)	7:40.05
11	松口 海人 (広島大学)	7:42.27
12	藤森 翼 (東京経済大学)	7:42.41
13	原 弘務 (明治大学)	7:42.64
14	寺井 昇平 (明治大学)	7:44.35
15	秋葉 翔太 (法政大学)	7:48.90
16	古澤 大賀 (京都大学)	7:49.14

17	川瀬 伸晃 (立教大学)	7:50.26
18	武田 信哉 (東北大学)	7:52.66
19	西口 裕生 (九州大学)	7:54.45
20	池田 晴彦 (滋賀大学教育学部)	7:56.12
21	有松 佑紘 (山口大学)	7:57.13
22	清野 雄大 (岡山大学)	7:57.19
23	石田 太一 (茨城大学)	7:57.28
24	森永 健太郎 (東京工業大学)	7:59.69
25	野村 勇太 (中央大学)	8:01.56
26	平尾 竜輝 (大阪工業大学)	8:03.64
27	吉坂 颯紀 (大阪市立大学)	8:03.64
28	近藤 良祐 (一橋大学)	8:04.08
29	筆島 一輝 (早稲田大学)	8:05.54
30	砂田 樹 (松山大学)	8:11.25
31	永松 サムエル (同志社大学)	8:15.74
32	稲岡 龍紀 (山形大学)	8:52.32

大会前日 タイムトライアル順位

レースNo.72 RepechageC組 12:23発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	明治大学	3 7:25.60
2	東京経済大学	4 7:30.47
3	日本体育大学	2 7:34.08
4	大阪市立大学	5 7:56.05
5	同志社大学	1 8:10.47

レースNo.29 HeatC組 12:46発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	日本大学	3 7:13.46
2	仙台大学	6 7:20.55
3	一橋大学	2 7:23.44
4	法政大学	4 7:29.00
5	慶應義塾大学	1 7:37.24
6	同志社大学	5 7:53.16

大会前日 タイムトライアル順位		
順位	クルー	タイム
1	東北大学	7:08.83
2	富山国際大学	7:10.79
3	明治大学	7:12.19
4	大阪府立大学	7:12.85
5	大阪大学	7:15.53
6	東京経済大学	7:17.07
7	日本大学	7:19.37
8	一橋大学	7:20.16
9	日本体育大学	7:23.41
10	筑波大学	7:23.80
11	仙台大学	7:24.36
12	法政大学	7:24.94
13	金沢大学	7:27.09
14	慶應義塾大学	7:27.63
15	東京大学	7:28.89
16	立教大学	7:31.04
17	京都大学	7:31.47
18	同志社大学	7:36.00
19	大阪市立大学	7:36.97
20	北海道大学水産学部	7:39.54
21	早稲田大学	7:40.09
22	関西大学	7:50.60
23	中央大学	-

予選では前半はプラン通り漕げたが苦手な第3クォーターから徐々に他大学に詰められ、3着に終わった。敗者復活戦、準決勝では課題であったキャッチ周りのブレドワークやフィナル周りのリズム感を2レースかけて修正することができた。その結果、B決勝は今大会1番のスタートを決め、前半から先行する形となった。苦手であった第3クォーターでは、ゴールに反応して艇を伸ばし続け、距離を詰められながらも2着でゴールした。学年関係なく対等に意見交換をし、より良い漕ぎを研究し続けたことが今回の結果に繋がったと考える。最後のレースは4回生はすべてを出し切り、1回生にとっては次への自信に繋げることができたレースになった。

女子 クオドルプル

クルーリーダー

石川 裕希乃(スポ健4・箕面)

シート

S:清水 彩夏(社1・吉田)

3:落合 陽乃花(グロ地1・彦根東)

2:石川 裕希乃(スポ健4・箕面)

B:石垣 愛衣(高4・本荘)

使用艇 Fortes fortuna adjuvat.

Target Time 6:55

目標 A 決勝

意気込み

4人で乗った半年間の集大成、みんなで最高の景色を見に行く



レースNo.133 Final B組 9:26発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	中央大学	3 7:01.90
2	同志社大学	1 7:09.81
3	法政大学	2 7:10.71
4	富山国際大学	5 7:12.99
5	中部電力	4 7:13.38
6	龍谷大学	6 7:26.37

レースNo.98 Semi Final B組 9:34発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	関西電力	3 6:53.47
2	明治大学	4 6:54.48
3	早稲田大学	2 6:54.79
4	中央大学	5 6:56.46
5	富山国際大学	6 7:17.68
6	同志社大学	1 7:28.47

レースNo.59 RepechageB組 10:28発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	デンソー	3 7:09.29
2	中央大学	4 7:14.26
3	同志社大学	5 7:29.48
4	富山国際大学	2 7:32.85
5	神戸大学	1 7:48.08
6	北海道大学	6 7:58.87

レースNo.15 HeatB組 10:40発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	東北大学	2 7:11.87
2	富山国際大学	3 7:17.11
3	同志社大学	4 7:19.67
4	関西学院大学	1 8:05.75

レースNo.68 RepechageC組 11:48発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	美方高校	3 7:14.23
2	警視庁	4 7:16.44
3	岐阜協立大学	2 7:24.39
4	立教大学	5 7:45.37
5	同志社大学	1 7:47.70

レースNo.26 HeatD組 12:18発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
1	アイリスオーヤマ	4 6:41.51
2	富山国際大学	3 6:47.01
3	今治造船	2 6:47.69
4	明治大学	6 6:55.04
5	警視庁	5 7:00.32
6	同志社大学	1 7:31.52

大会前日 タイムトライアル順位

順位	クルー	タイム
1	富山国際大学	6:46.79
2	日本体育大学	6:51.43
3	明治大学	6:52.38
4	東京経済大学	6:57.43
5	仙台大学	7:01.21
6	日本大学	7:01.85

順位	クルー	タイム
7	立命館大学	7:01.98
8	早稲田大学理工漕艇部	7:03.55
9	岐阜協立大学	7:06.80
10	慶應義塾大学	7:07.41
11	龍谷大学	7:07.56
12	法政大学	7:09.75

男子 ダブルスカル

クルーリーダー

藤木 貴也(スポ健3・桐蔭)

シート

S:三沢 康太郎(法3・佐野日本大学)

B:藤木 貴也(スポ健3・桐蔭)

使用艇 Jerome Dean Davis

Target Time 6:50

目標 入賞

意気込み 勝ちに行きます

順位	クルー	タイム
13	関西大学	7:21.82
14	立教大学	7:21.85
15	学習院大学	7:21.85
16	一橋大学	7:22.08
17	同志社大学	7:22.92
18	大阪市立大学	7:24.00

順位	クルー	タイム
19	追手門学院大学	7:24.34
20	千葉大学	7:31.07
21	京都大学	7:51.99
22	東京医科歯科大学	-

男子舵手つきフォアA

クルーリーダー
福條 武琉(商2・洲本)

シート
C:内山 碧(スポ健3・浜松北)
S:福條 武琉(商2・洲本)
3:島村 昂希(商1・熊本学園大学付属)
2:林 颯一郎(社2・東山)
B:安陵 将太郎(商1・清風)

使用艇

Veritas liberabit vos.
Target Time 6:40
目標 決勝
意気込み
クルー内仲良くすることが目標です

レースNo.45 決勝 11:50発艇	レースNo.31 敗復A組 14:48発艇	レースNo.14 予選B組 11:53発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 龍谷大学 A 3 6:42.06	1 同志社大学 A 3 7:02.72	1 龍谷大学 A 2 7:05.05
2 同志社大学 A 5 6:51.52	2 関西大学 2 7:08.74	2 同志社大学 A 4 7:10.86
3 大阪大学 4 7:02.80	3 同志社大学 C 4 7:30.71	3 神戸大学 A 5 7:36.36
4 龍谷大学 B 2 7:04.99	4 大阪市立大学「紅朝」 7:44.84	4 大阪大学医学部「ARES」 6 7:45.27
5 神戸大学 A 1 7:08.75	5 滋賀大学教育学部 天覇 DNS	5 滋賀大学教育学部 1 8:00.92
6 鳥取大学 6 7:14.68		6 京都大学 3 9:35.79

特別代替大会準優勝

今回のクルーではキャッチ前に重きを置いて練習に取り組みました。クルー結成から大会まで時間があまりなかったため、パドル中心の練習でしたが、最初に比べて練習するにつれ、楽に漕ぐことができました。ハンスセット、シートを合わせることで自然に全員のキャッチタイミングが同じになっていったことが楽に漕げた要因であると思います。試合では今までで一番の漕ぎができたので、このクルーで見つけた課題点を冬練でしっかりと修正できたいと思います。

男子舵手つきフォアC

クルーリーダー

前田 悠太(文情2・高槻)
シート
C:山川 慶衣果(政策3・同志社国際)
S:磯本 迅汰(社3・平城)
3:橋本 直人(スポ健2・高槻)
2:前田 悠太(文情2・高槻)
B:小西 辰弥(法3・報徳学園)

使用艇 filippi
Target Time 7:20
目標 勝つ
意気込み
1本1本を大事に

レースNo.31 敗復A組 14:48発艇	レースNo.15 予選C組 12:00発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 同志社大学 A 3 7:30.57	1 龍谷大学 B 2 7:30.57
2 関西大学 2 7:32.32	2 滋賀大学 5 7:32.32
3 同志社大学 C 4 7:42.78	3 鳥取大学 6 7:38.19
4 大阪市立大学「紅朝」 1 7:48.29	4 同志社大学 C 4 7:42.78
5 滋賀大学教育学部 天覇 DNS	5 関西学院大学 3 7:48.29
	6 大阪大学医学部「ASTRIA」 1 DNS

レースNo.40 決勝 11:00発艇	レースNo.10 予選D組 11:20発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 野村裕貴(龍谷大学) 3 7:36.94	1 中村 征道(同志社大学) 5 8:07.36
2 清野雄大(岡山大学) 6 7:46.67	2 松山 竜斗(追手門学院大学) 4 8:28.11
3 中村 征道(同志社大学) 4 7:48.83	3 野崎 雅仁(岡山大学) 3 8:44.73
4 東村 敢(京都大学 B) 2 7:58.37	4 柏原 航太(大阪大学) DNS
5 大畑 喜紀(滋賀大学教育学部) 1 7:59.35	
6 奥田 隆一(京都大学 A) 5 8:08.33	

特別代替大会3位入賞

第32回 関西学生秋季選手権特別代替大会

2024年 11月27日(土) 28日(日) 於 大阪府立漕艇センター

今回のクルーは、比較的パワーがあったが、技術不足でパワーを殺してしまっていた。具体的には、端々が合っていないせいでフラットを崩してしまったり、フラットを崩すのを恐れてレンジが短くなってしまうたりした。決勝ではその時にできる番いい漕ぎをしたつもりだったが、龍谷大学の方が完成度が高く、スタートからゴールまですべて逃げられる形になってしまった。冬練では、フィジカルの強化はもろろのこと、すべての艇種に対応できる器用さを手に入れなければならない。

男子舵手つきフォアB

クルーリーダー

石田 和己(経済2・同志社)
シート
C:山本 歩武(法3・育徳館)
S:福味 孝太郎(心理1・済々黴)
3:徳永 誠波(スポ健1・広島工業大学)
2:石田 和己(経済2・同志社)
B:加藤 雅隆(社2・名古屋)

使用艇 Wild Rover YUKAWA
Target Time 7:00
目標 浜寺不敗神話を築く
意気込み
伴さんに乗せているつもりで...

レースNo.33 敗復C組 15:02発艇	レースNo.13 予選A組 11:46発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 神戸大学 A 4 7:07.58	1 大阪大学 5 7:22.59
2 同志社大学 B 3 7:08.15	2 同志社大学 B 4 7:32.59
3 関西学院大学 2 7:36.44	3 関西大学 6 7:42.85
4 大阪工業大学 5 7:44.75	4 大阪工業大学 2 7:50.49
	5 大阪大学医学部「TRISTAN」 1 7:53.67
	6 大阪市立大学「紅朝」 3 8:09.89

男子シングル スカル

中村 征道(文情2・須磨東)

使用艇 Silky
Target Time 7:45
目標 決勝進出
意気込み 最後まで諦めずに漕ぎきる

京都レガッタの時は他艇を意識してしまい固い漕ぎになってしまっていたので、今回は落ち着いて自分の漕ぎに集中することだけを意識した。その結果、予選、決勝ともスタートからリラックスして前に出ることができ、初の2000mレースを楽しむことができた。



クルーリーダー
谷本 美伊菜(スポ健3・同志社)
シート
S:谷本 美伊菜(スポ健3・同志社)
B:谷本 陽花(政策4・津)

使用艇 Alice Jennette Starkweather

Target Time 7:50
目標 最終日

意気込み 全力で悔いなく終われるよう頑張ります!

女子ダブル スカル

タイムトライアルでは、スタートからリズムを崩すことなくコンスタントに漕げた。しかし、アップ不足により息が切れやすくなり、スタートで上げることが難しかった。予選は前日の反省を生かしアップをし、しっかりと行うことができ、ペイス配分が良かった。しかし、上半身の固定感やパワーの出力が合わなかったと感じる。敗者復活戦では突風の横風が吹く中、今までの乗艇の強風の日の中で一番良い漕ぎができたと感じた。しかし、疲れてきた時のグリップワークに課題を感じた。今回負けた大きな要因としては2つある。ひとつ目は体力が回復しきっていなかったこと、2つ目は強風の中の乗艇技術の不足があると考える。突風や自然の障壁のあるなしに関わらず勝てるように運をはねのける絶対的な強さが欲しいと感じた。

レースNo.55 RepechageD組 9:34発艇	レースNo.9 HeatD組 9:44発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 美方高校 4 7:53.75	1 成立学園高校 4 7:34.55
2 中央大学 3 7:55.89	2 美方高校 2 7:40.43
3 同志社大学 2 8:16.49	3 立命館大学 3 7:47.93
4 大阪府立大学 5 8:21.26	4 同志社大学 5 7:55.64
5 わたらせ RC 1 8:49.03	5 大阪府立大学 6 7:55.81
	6 仙台大学 1 8:11.65

大会前日 タイムトライアル順位		
1 金沢大学	7:22.74	13 大阪府立大学 7:55.04
2 立教大学	7:33.12	14 鹿屋体育大学 7:56.44
3 日本体育大学	7:33.97	15 龍谷大学 7:59.89
4 早稲田大学	7:34.33	16 仙台大学 8:05.13
5 中央大学	7:35.25	17 大阪大学 8:07.04
6 慶應義塾大学	7:35.30	18 筑波大学 8:08.37
7 立命館大学	7:42.15	19 東京海洋大学 8:10.56
8 富山国際大学	7:43.01	20 新潟大学 8:15.55
9 明治大学	7:48.20	21 滋賀大学 8:18.14
10 大阪市立大学	7:50.29	22 順天堂大学 8:21.15
11 同志社大学	7:53.71	23 岡山大学 8:27.15
12 法政大学	7:54.25	24 茨城大学 -

同志社唯一の4年生クルーとして臨んだ最後のインカレ、決勝にはあと一歩届かなかった。しかし、自分達の力は出し切れたのではないかと思う。予選ではコンスタントで一番良い形の漕ぎが体現でき、敗復ではレースプラン以上に2人で攻め続けることができた。ペア未経験の私達が最後にこうしたレースができたのは、一から手厚く指導して下さった中來田コーチや先輩方、そしてどんなときも私達を支え続けてくれた艇担当の啓造のおかげです。本当に、本当にありがとうございました。



レースNo.56 RepechageA組 9:50発艇	レースNo.12 HeatC組 12:23発艇
順位 クルー レーン 2000mタイム	順位 クルー レーン 2000mタイム
1 立命館大学 3 8:18.73	1 立教大学 2 8:07.15
2 中央大学 5 8:26.30	2 一橋大学 1 8:17.93
3 仙台大学 4 8:27.82	3 同志社大学 3 8:25.41
4 関西学院大学 2 8:30.05	4 法政大学 4 8:32.44
5 同志社大学 1 8:38.59	
6 慶應義塾大学 6 8:45.68	

クルーリーダー
山本 紗奈(社4・同志社女子)
シート
S:山本 紗奈(社4・同志社女子)
B:松元 遥香(スポ健4・鹿児島)

使用艇 Wild Rover 八重

Target Time 8:10
目標 決勝進出

意気込み
同志社唯一の4年生クルーとして、有終の美を飾ります!

女子ペア

クルーリーダー
内田 真歩(スポ健2・新宿)
シート
S:内田 真歩(スポ健2・新宿)
B:手崎 楓(グロ地1・御影)!

使用艇 Wild Rover 八重
Target Time 8:20 目標 決勝進出
意気込み
2人で息を合わせて頑張ります!

1日目は緊張やコンディションもあり、自分たちがしたい漕ぎにもっていき、2日目は苦戦したが、2日目には自分たちもスタートをかけることができ、その結果として大阪大学に競り勝ち、3位を勝ち取ることができた。競り勝つという経験は、2人ともにとって確実に良い経験となった。そしてこの経験は、これから冬を乗り越える上での自信に繋がると感じる。

レースNo.34 決勝 10:00発艇	
順位	クルー
1	関西大学
2	滋賀大学
3	同志社大学
4	大阪大学
5	滋賀大学教育学部 叶
6	関西学院大学

特別代替大会3位入賞

女子ダブルスカル B

クルーリーダー
落合 陽乃花(グロ地1・彦根東)
シート
S:清水 彩夏(社1・吉田)
B:落合 陽乃花(グロ地1・彦根東)
使用艇
Alice Jennette Starkweather
Target Time 7:45 目標 優勝する
意気込み
全力で漕ぎ切ります!

レースNo.17 予選 12:15発艇	
順位	クルー
1	同志社大学
2	鳥取大学
3	大阪市立大学「あやめ」
4	神戸大学
5	福岡女子大学

レースNo.42 決勝 11:20発艇	
順位	クルー
1	同志社大学
2	鳥取大学
3	神戸大学
4	大阪市立大学「あやめ」
5	福岡女子大学

特別代替大会優勝

女子ダブルスカル A

今大会は1回生同士で初めてダブルを組んだ。クオートを組んでいたこともあり基本的なオールの動きであったり、押し切りのタイミングであったり合わせやすい部分があった。しかし、ピークのタイミングやキャッチ、フィニッシュの端々が揃いきつていなかった。お互いに力を加えていてもピークが揃っていないなどがあることでロスが多かったと思う。冬季練習ではシングルに乗る予定であるため、個人個人の課題に向けたトレーニングに励みたい。落合はキャッチのかりやボディの接続に気をつけ、清水はエントリーの速さや上体の使い方に気をつけていきたい。

クルーリーダー
遠藤 寛昌(スポ健3・広島観音)
シート
S:遠藤 寛昌(スポ健3・広島観音)
B:多田 悠真(商1・嵯峨野)
使用艇 Wild Rover 寛馬
Target Time 7:40
目標 A 決勝
意気込み
初の2000レース最後まで楽しんで頑張ります。

今回の加古川代替レガッタでは、さまざまな課題点が見つかりました。その中でも特に気になった点が2つあります。まずひとつ目に、持久力の問題が挙げられます。2000mのレースで前半1000mは水中も入れつつオール角の取れた漕ぎができていて、後半の1000mで体がほとんど動いておらず腕だけで漕いでいるような状態が見受けられました。それは、コーチのタイム記録にも如実に現れていました。なのでこれを改善するべく、冬練では

毎モーションごとに体感メニューを個別に実施し、かつ朝モーションの7500mのエルゴメニューを重視していくということを行います。次に、航路の問題が挙げられます。航路に関しては漕いでいる時に何度かブイに当たったり、隣のレーンに侵入したりしてしまうということがあったので、今後のモーションでシングルに乗るといこともあるので、ここを意識して対処していきたいと思えます。

男子ダブルスカル A

レースNo.2 予選B組 10:08発艇	
順位	クルー
1	近畿大学
2	岡山大学「美星」
3	大阪市立大学 C
4	同志社大学 A
5	京都大学医学部「昂琉」
6	関西学院大学 B

レースNo.23 敗復B組 13:38発艇	
順位	クルー
1	同志社大学 A
2	関西大学 B
3	大阪工業大学
	京都大学医学部「昂琉」

レースNo.35 決勝 10:10発艇	
順位	クルー
1	近畿大学
2	岡山大学
3	関西大学 A
4	同志社大学 A
5	鳥取大学
6	京都大学医学部「雲龍」

特別代替大会4位入賞

レースNo.1 予選A組 10:00発艇	
順位	クルー
1	鳥取大学
2	関西大学 A
3	京都大学医学部「雲龍」
4	同志社大学 B
5	大阪工業大学

レースNo.22 敗復A組 13:30発艇	
順位	クルー
1	京都大学医学部「雲龍」
2	同志社大学 B
	大阪市立大学 C

予選は1回生にとって初めての2000mレースであり、レースプラン通りにいかなかった。3回生と1回生の間でベイス配分の認識に差があり、攻める姿勢も異なった。そのためスタートから他大学に置いていかれる形になり、そのまま引き離されて競り合うことなくゴールしてしまっただけの結果。7分をオーバーしてしまっただけとは思えないタイムを出してしまっただけ。敗者復活レースでは予選の反省を生かし、前半から攻める姿

勢を見せた。スタートは関西学院大学と競り合い、1000m地点で離されてしまったものの、前半の勢いそのままスピード感のあるレースとなり、タイムも大幅に更新することができた。

入部直後の1回生と怪我明けの3回生のダブルということもあり、基礎練習に重点を置いて練習を進めた。その中で、基礎的な技術については向上させることができたと思う。一方で、大会2週間前から、怪我や体調不良が重なり、十分な乗艇時間を確保できなかったことで、高レートで漕ぐ練習を十分に積むことができなかった。そのため、レースでは多少低いレートで最後までレートを落とさずに漕ぎきるとい方法をとらざるを得なくなりました。実際に中盤でもレートをほとんど落とさず漕ぎ切れたことは収穫ではあるものの、高レートでも安定した漕ぎができるようになることは今後の重要な課題として残った。

男子エイト

(《新人の部》)

クルーリーダー
田中 勇成(法1・広島なぎさ)
シート
C:開高 礼香(政策1・同志社香里)
S:加納 尚(グロ地1・同志社)
7:田中 勇成(法1・広島なぎさ)
6:城 博海(経済1・六甲学院)
5:上島 勇太郎(女3・鹿児島)
4:南野 亘紀(経済1・高槻)
3:高島 大介(経済1・新潟第一)
2:片山 夏貴(政策3・進手門学院)
B:青木 優太(法1・世田谷学園)

使用艇 Wild Rover XV
Target Time 6:40
目標 他大学に勝つ
意気込み
細かな動作も合わせて漕ぐ

レースNo.4 予選B組 10:23発艇	
順位	クルー
1	大阪大学
2	神戸大学 A
3	関西学院大学
4	大阪市立大学「煌」
5	同志社大学
6	九州大学

レースNo.24 敗復A組 13:46発艇	
順位	クルー
1	関西学院大学
2	同志社大学
3	滋賀大学

男子ダブルスカル B

クルーリーダー
大江 彰紀(スポ健3・仙台第一)
シート
S:西岡 和希(生命医科1・西城陽)
B:大江 彰紀(スポ健3・仙台第一)

使用艇 Blue Impulse
Target Time 7:40
目標 自分たちの漕ぎを最後まで通しきる
意気込み
すべての力を出し切ります!

DURC TOPICS 2021 東京五輪 ニージーランド代表選手団が瀬田で事前合宿

去る2021年7月23日から8月8日に東京オリンピック、8月24日から9月5日に東京パラリンピックが開催された。東京での開催は57年ぶりの2回目となった。コロナ禍でもあり、2020年開催の予定は1年延期となる事態になった。

ボート競技においては7月23日から7月30日の7日間、東京都海の森水上競技場で開催され、世界各国のボート選手が集まった。日本からは男子シングルスカル、女子軽量級ダブルスカル、2クルーが出場し、男子シングルの荒川選手は11位、女子軽量級ダブルスカルの大石選手・大石選手は10位という結果で終わった。

このオリンピックが開催される前にボート競技の強豪国、ニュージーランドの代表選手たちが前入りし、瀬田で練習をおこなっていた。我々同志社大学ボート部もその姿を見ることができた。ニュージーランドは、今大会で男子エイト、女子ペア、女子シングルでもメダルを獲得し、他にも女子エイトや女子ダブルでもメダルを獲得するという輝かしい成績を残した。このようにオリンピックが日本で開催されたことにより、オリンピック選手を身近に見ることができ、漕ぐことへの一層の意欲を燃やされる機会となった。オリンピック選手の一系乱れぬ動きには瞠目した。



ビーO interview IタB

もっと上の景色を見るために

「ボートを始めようと思ったきっかけを教えてください。」

西村 始めたのは高校生の時です。滋賀の高校だし、水に触れるスポーツをしたいなと思っていました。カヌー、ヨット、ボート、いろいろあるけれど、行った高校にはボートとヨットしかなくて。ヨットは頭を使いながらやるスポーツだし、練習場所も遠かったんで、ボートを選びました。とにかく、水に触れたいという気持ちから始めたのがきっかけです。

「大学でボートを続けようと思った理由は何ですか？」

西村 僕は公募推薦で同志社に入ったのですが、一番のきっかけは、高校3年生の時のインターハイの滋賀県予選で負けてどうにもやりきれなくなりました。その後開催された国体の滋賀県選抜は

勝ちや目標は ボートを 楽しむ その先に ある。

西村 雅親 先輩

今回のインタビュは、社会人漕手として今後の活躍が期待されるOB、西村雅親さんです。昨年夏までバリバリの現役部員だった西村さん。ボート部での思い出や経験、ボートへの想い、そして今後の目標など、熱く語ってくださいました。



すね：準優勝に終わったことがとにかく悔しかったです。

インカレ前の関西選手権も同じクルーで出場したのですが、その数カ月前に行われた全日本軽量級選手権優勝の龍谷大学に競り勝って優勝したんです。この勢いならインカレも優勝できる、と。レース当日も、1800mくらいまではずっと1位で、「これは絶対いける！」と思っていたんですが、最後にあり得ないような差され方をされて、写真判定になるほどの僅差で負けてしまいました。

レースが終わって細かいところでのミスがあったなどの振り返りでしたが、レース自体もそれ以前の過程も、とにかくすべてにおいて悔しかったですね。

「舵手付きフォアで優勝された、2回生の時のインカレのことを教えてください。」

西村 関西選手権まで対校イトに乗っていたんです。当然、インカレを目指していたんですが、関西選手権が4位で終わってしまっただけで精神的にも雰囲気的にも「あのままのクルーでイトを組むのは不可能」という監督の判断もあって、僕は付きフォアに変わりました。ところが、インカレまで時間がなかったうえにケガまでしてしまっ、とにかく自信を持てるだけの練習ができませんでした。だから当日は正直「もうどうにでもなれ」と笑っているところ。レースが始まると、全員が今までにないほどの漕ぎができて、試合の中で成長している」と感じられるほどだったんです。準決勝には、その年の全日本選手権で優勝した

法政大学のクルーもいましたが、しっかり勝ち

切ることができたのは自信につながりました。

決勝では、その当時のコーチが他大学のクルーの漕ぎを詳細に分析してくださったっていう、「お前らのプランなら絶対に勝てるから安心して漕げ」と励ましてくれたんです。それがさらに自信につながって、優勝という最高の結果で気持ちよくレースを終わることができました。

船台に船をつける時、その場にいたほとんどの人々が来てすごく喜んでくれていたのが見えたんです。レースが終わった直後は単純によかった、嬉しい、ぐらいたったのが、船台についた瞬間、同じクルーの人が引くらいぼるぼるに泣き崩れてしまっ、優勝したんだと一番実感した瞬間でした。自分では気づかなかったけど、その1年前のこともあって知らず知らずのうちに相当プレッシャーがかかっていたんだらうな、と。やった、嬉しい、というよりも「良かった」と思う気持ちが一番大きかったですね。

「日本一の経験を経た西村さんが考える、ボート競技で勝つために必要なことはなんですか？」

西村 僕は身体を痛めている時期が多くて、自分の持っている力をいかに最大限、船の推進力に変えられるかを常に考えていました。だからこそ乗艇練習には人一倍うるさかったと思います。うちの部はフィジカルトレーニングにかなり力を入れているけど、それでもインカレなどで他大学に差をつけられることも多い。それは、頑張っ

力につながっていないんじゃないかなと思うんです。それじゃすくもったいなせつかく頑張って陸上でトレーニングした成果をスピードにつなげるためには「どうすべきか」を考え続けたのが僕の4年間だったかもしれない。

一番大事なのは『船との対話』。つまり、自分が漕いでいる感覚を擦り合わせながら船を進められているかだと思えます。数字にとらわれるのではなく、船が自分の気持ち良い感じで動いてくれているか。勝つには、それをしっかり感じ取ることが必要なのではないでしょうか。

「勝つよりも大切なこと。」

「ライバルに対してはどのような気持ちや姿勢でいましたか？」

西村 ライバル、と言われて、パツと思ひ浮かんだ人がひとりいます。その人と同じ種目で戦ったのは数える程なんです。(笑)、高校時代からずっとライバルで、ボートに取り組む姿勢からテクニクまで、ボート選手として尊敬できる部分がたくさんあるんです。高校時代、戦績は負けていたけれど、大学に入ってお互い違う環境になって、対等に渡りあえるようになってきます。違うチームではあるけれど、お互いの練習風景を見て指摘しあって、チームメイトじゃないのにチームメイトのような、敵なのに敵ではないような、尊敬できて信頼のおける、お互いに高めあ





る関係の仲間。もちろん、戦績で負ければ悔しいし、勝てば嬉しい(笑)。ただその嬉しさも、戦績を見せつけるようなことではなく、「一緒に頑張ったおかげで僕はこんなに素晴らしい戦績が取れたよ」という嬉しさですね。

試合が終わって相手に「ありがとう、楽しかったよ、上手かった」と伝えてくれて。お互いに称えあえることが「ああ、すごくいい関係なんだな」と思えるし、ライバルといえど信頼できる関係があるからこそ、お互いに高めあえたんだなと思います。

大切なのは、「気遣い」と「余裕」。

— 4年間の合宿生活で西村さんが得たことや学んだことを教えてください。

西村 たくさんの人と同じ宿舎で一緒に生活していると、もちろん一人ひとりの性格、考え方、過ごし方は違うし、生活の中で細かいところまで気にかける人もいれば、そうでない人もいます。やはりいると不便は出てきます。そんな中で、みんなが心地よく過ごして競技に向き合っているには…と考えた時に「心や時間に余裕がある人が、気になるところを徐々に直していく気遣い」が大事だなと思いました。

今、自分のことを振り返ると、1回生や2回生のころは競技的に船だけ進めていけばいいと考えていて、部の運営や合宿所のことになかなか気を向けられてはいませんでした。ただ、3、4回生になって心に余裕ができる、目に入ること、気づくことも増えてきて、ちよつとした気づきから「ここはこうしたほうがいいかも」と、自然と動けるようになりました。僕の同期でとにかく何事も細かくやってくれていた人がいたんです。その人は、「他人に無理強いわせず、気づいたらやっていきましょう」と周囲に伝えながら、動いてくれていました。それを見て、みんなで生活するにおいて大事なことは「気遣い」と「心の余裕」だな、と。これを部員全員ができれば、今よりもっと良くなるはず。

— 部活と勉強を両立する上で大変だったこと

とはなんですか？

西村 1・2回生のころは授業を詰め込んだんですが、いざその生活を始めると本当に時間がなくて、心に余裕がなくなってしまうんです。部活にも勉強にも時間的に急かされる毎日の中で、いかに自分の時間を持つかということが一番大変でした。

なので、例えば自分が好きなちよつとしたものを身につけるとか、息抜きを工夫を工夫するとか、細かいところで心が落ち着くように意識しました。

人それぞれ感じ方こそボート競技の「魅力」。

— 社会人漕手になるうと思っただけは何かだったのでしょうか。

西村 ボート競技自体は好きだし、ボートに対する好奇心も強いから続けたいという思いと、高校生の頃と同じで「このままではやめられない」と思っただけが一番ですね。

インカレで優勝もできて、戦績面ではしっかりやりきれたと思う一方で、自分とボート競技そのものを見つめ直した時に「自分の漕ぎに向き合っていない」と感じたんです。船は自分のスタイルでしか進まないと考えていたんですが、大学4年間でスイープからスカルに戻った時に「意外と進むんだな」ということに気付いて、もっと広い世界で漕ぎを知りたいという好奇心みたいなものもあってそこで得た経験を、高校のボート部、そして同志社大学のボート部に還元できたことも

ち、他大学のクルーやコーチとの関わり、競技には全く関わりがなくても試合の応援に来てくださる方々…ひとつの競技を通して、こんなにも人と関われるんだな、と。

そういう人と人との関わりを活用できる方法を見つけたら、ボートのことも含めてより多くの人に知ってもらえそうですし、より楽しくなれると思います。今後はそういう活動もしていきたいですね。

— ボート競技をひとりで表現すると…？

西村 「ひとりで表現しきれない」になりますね(笑)。

ボート競技の経験がない人はきっと「優雅、楽しそう、水の上だし怖そう」といった曖昧なイメージを持たれているんじゃないでしょうか。それが、初体験の人であれば「思っていた感じと全然違った」と言う人が多いし、少しでもボート競技に触れたことのある人は「繊細な水の感覚が…」みたいな難しいことを言う人から、「面白くない」と言う人すらいます。ボート競技を通じて感じるものは本当に人それぞれなんだと思うし、逆に、感じる人それぞれ、ボート競技があるのが魅力的だなと思うんです。それを踏まえると、「ひとりで表現しきれない」と。最初は勝つことだけが魅力的だと思っていたんですが、大学4年間でそれだけが魅力ではないということに気付かされました。

— 社会人漕手のOBとして、これからの同志社大学ボート部にはどのような組織になつて欲しいですか？



— 競技を続けるにあたって、新たな目標はありますか？

西村 やはり「勝ちを目指したい」と思うし、それこそがスポーツをする楽しさでもあると思うから、それが目標ですね。具体的には、全日本選手権で勝つこと。種目のこだわりはないけれど、やはり花形種目のエイトで勝れば一番ですかね。

戦績以外で言えば、ボート競技を通して、人と関われる機会をもっと増やしていきたいです。大学に入って感じたのは、ボートはチーム内の人と人との距離が近いスポーツだということ。チーム内だけでなく、OB OG、コー

西村 せっかくボートという競技に出会ったのだから、後輩たちにはたくさん楽しんで欲しいと思うんです。組織のベースにあるものは「楽しさ」であって欲しい。ボート選手として楽しく競技をしてもらうの先に、「勝ち」や「自分の目標」があると思うので。

— 最後に、現役部員にメッセージをお願いします。

西村 同志社大学ボート部は、見えないところで動いてくれている人が多い部活だと思うんです。トレーナー、マネージャーもみんなが思っている以上に働いているし、休みの時でもきてくださるコーチのみなさん、先輩後輩の教え合い、寄付で支えてくださるOB OGさん…ほかにも、知らないところ、見えないところで、ボート部のために動いてくださっている方がたくさんおられます。最終的な部分しか知ることができないけれど、どんなことでもそれまでの過程において長い時間をかけて働いてくれています。そういう、目に見えない「裏の支え」がしっかりとあることをまずは忘れないうでほしいです。そしてそれを「ありがとう」という感謝の言葉にできれば、この部の全員がもっと気分よく過ごせると思います。

「知っているよ」で済ませるのではなく、しっかりと相手に伝えて欲しいです。自分から積極的にそういった動きを忘れずに行えば、全体の気分が良くなって、競技的に取り組みやすくなるはず。

生活面から楽しく、そして競技面も楽しくと思える部活にしてほしい。楽しく過ごすってください！

卒業生の言葉



小島 佑太

YUTA KOJIMA

商学部商学科
熊本学園大学付属高等学校出身

高校から含め7年間のボート生活が終わりました。日本一には一度もなれませんでした。同志社に入り、同志社の一員として日本一を目指し続けた4年間は宝物です。

もちろん、時には対人関係であったり、ボートが嫌になる時もありました。ただそれ以上に幸せな時間を仲間達と過ごし、ボートが好きなんだと思わせてくれたからこそ、ボート人生を全うできたと思います。

7年間、現地で観戦したりライブ配信で全ての大会を応援してくれた両親、多大な支援をくださったOB・OGの方々、勝つために熱い指導をくださった監督・コーチの方々、その他多くの方々の支えに感謝の気持ちでいっぱいです。

同志社大学はこれからも強くなり続けたいと思います。これからは、後輩達のさらなる活躍を見守りたいと思います。ボートを通じて関わってくださったすべての皆さま、ありがとうございました。



黒須 脩太

SHUTA KUROSU

経済学部経済学科
栃木県立真岡高等学校出身

まずこれまでご指導くださった監督・コーチ陣の方々、ご支援くださった関係者の皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。

「初心者からでも日本一を目指せる組織」

この言葉を受け、ボート人生に4年間身を捧げる決意をしました。この4年間、主将として、ひとりの漕手として楽しさ以上に理不尽なことの方が多かったです。やはり勝ちたかった。勝つこと以外許せなかった。だから自分自身に妥協しなかった。谷間の世代と呼ばれたくなくて、意地でも2000mTTで記録を出してレースで優勝するために必死になった。「勝たなければ同志社大学ボート部の道は開かれない」そう自分自身に言い聞かせて、苦しみ苦しんだ4年間でした。

だから日本一を獲れた時や対校エイトとして勝つ時、自分自身を許すことができました。しかし、それ以上に多くの人から支えられてきたからこそだと実感できました。共に練習をした漕手の皆、熱いコールをかけてくれたCOX、献身的にサポートしてくれたトレーナーやマネージャー。彼らなしでは私の4年間は語れません。本当にありがとう。

最後になりますが、同期の皆、4年間本当にありがとう。最高の130期です。

それでは、いつか来る新時代を、後輩たちが勝利する日を信じながら、私はお暇させていただきます。



安藤 亮裕

AKIHIRO ANDO

政策学部政策学科
同志社香里高等学校出身

ボート部全員が100を超える人たちに囲まれて生活してきました。当たり前ですが、その人たちは1人ひとり価値観も考え方も違い、ボート部で活動する意味も異なっていました。ただひたすらインカレで日本一になりたい人、4年間練習をやりきることが目的の人、筋トレが好きの人などさまざまでした。ボート部である意味に正解はありません。ただ、自分が満足して引退できればそれでいいものということに途中で気が付きました。これは人生も同じことでどんな人生を生きようと、人を傷つけるようなことをしない限り自分が満足できればそれでいいんだと思います。

僕はひたすら日本一になることだけを目指して練習してきました。そのためにさまざまな自分のやりたいことを犠牲にして練習に励みました。ある日ふと、日本一になった後のことを考えてみると、何もないのではないかと思うようになってしまいました。それから、満足できる4年間にすることを目標に毎日一生懸命頑張るようにしました。

後輩たちには、勝つことも必要だけれど、なぜ勝ちたいのか、そこに本当の価値があるのかということを見つめて最後は笑顔でボート生活を締めくくっていただきたいです。



滝本 旺大

OUTA TAKIMOTO

法学部法律学科
立教池袋高等学校出身

「同志社大学の扉を開けることを選び、入ってきてくれた皆さんに感謝します。開け方はさまざまです。人それぞれでいいのです。一人ひとりしっかりと向き合うことにより、個々の能力を引き出し、共に未知への挑戦を行っていく。それが同志社大学の教育なのです」

入学時に聞いた当時の学長の言葉を、今でも鮮明に覚えています。この言葉を体現していたのが、ボート部でした。帰宅部、野球部、陸上部。スポーツ推薦、一般入試、浪人。日本一を目指す一方で、どんなバックグラウンドでも受け入れる組織に、情熱を注ぎたい、その一員でありたいと思ったのです。その選択は正しかったと自信を持って言えます。

本当の勝利とは何でしょうか。インカレで勝つことはもちろん大切なことでしょう。そのためには、実績のある選手を集めればいい。ただ、同志社は違うのです。ボートオタクがいてもいい。スポーツが苦手な人がいてもいい。一人ひとりが未来に向かって頑張れる環境があるのです。そんな環境で私は「本当に大切なもの」を手に入れることができました。仲間との友情、絆。これらは目に見えませんが、たしかに私の心に刻まれています。本当に大切なものは、目に見えないのですから。



Lumiebre

AEHANDKERCHIEF CO., LTD. tel: 0795-48-2031 <http://www.lumiebre.jp>



高木 栄次

EIJI TAKAGI

法学部政治学科
香川県立高松西高等学校出身

4年間を振り返って、まずボートという競技面において私はなかなか勝つことができず悔しい思いをすることの方が多かったように思います。しかし、そんな中の数少ない勝利の瞬間は今でも鮮明に覚えています。また、野球からボート、点を競う競技からスピードを競う競技という高校までとは全く違った競技でしたが、自分なりに全力で取り組み悔いなく終わることができたと思います。次にボート部での生活面において、競技面で悔しく苦しい思いが多かった分、楽しかった思い出のほとんどはクラブハウスでの出来事です。集団生活でしか味わえなかったさんのものがクラブハウスには詰まっています。ダイニングでのみんなでのご飯、部屋での無駄話、急いで入る風呂などまだまだたくさんあります。次に同期に関して、私は同期のおかげで4年間走り続けることができました。感謝しかありません。4年間でさまざまなことやものを得ることができましたが、最高の同期が最も大切です。最後にこれからの自分について。これから卒業して社会人になるのですが、社会に出てボート部で得たものを活かし、そしてそれを忘れず立派な社会人かつ素敵なOBになっていきます。



小森 京

KEI KOMORI

法学部政治学科
同志社国際高等学校出身

「ボート競技」との出会い、「偉大な先輩・愉快な同期・たのしい後輩」との出会い、「信頼する監督・コーチ陣・OBOG」との出会いに感謝します。刺激的な生活に、感情を揺さぶられ、考え、行動しては、失敗し、たまに成功!? 皆さんとの出会いを通じて多くのことを学ばせて頂きました。中でも、「頑張ることより楽しむ!!」という学びが、将来の力になると感じています。ボート競技も日常生活も貪欲に「楽しむ」仲間の姿は、「頑張る」ことだけに満足していた私を変えてくれました。部活動は大学生生活を豊かにするもの、そして楽しむものです。後輩の皆さんには「頑張る」ことだけに満足せず、「楽しむ」ことに貪欲になって欲しいです。すべてを楽しむのは簡単なことではありませんか、楽しむことの大切さを教えてくれた、皆さんならきっとできます。愉快な同期の皆さん、いつも笑いを届けてくれてありがとう。どんなことも笑い飛ばしてくれるみんなに本当に助けられました。年1で集まりましょう。先輩方、「マニュアルロボット、トゥウィーター、二等兵etc」いろんな呼び名でかわいがって頂きありがとうございます。これからもご指導よろしく願います。

皆さんのさらなる活躍を願ってアテンションゴー。



市川 巧真

TAKUMA ICHIKAWA

社会学部社会学科
愛知県立千種高等学校出身

4年前、「みんなゼロから同じスタートラインに立ってボート始めよう」という謳い文句に惹かれてボート部に入部しましたが、4年経った今、僕が感じていることは、スポーツは不平等なものであるということです。

身長、体重、成長の個人差、練習環境など、挙げればきりがありません。僕は体格が恵まれているほうではないですし、エルゴ値も思うように伸びていかない時期が長かったです。加えて、コロナ禍の2年間で5度の活動停止にも遭いました。

こんな目の前壁だらけの4年間でしたが、そのおかげで人間として大きく成長できたと思います。特に逆境の中で環境のせいにせずいかに努力できるか、という力を身に付けることができました。身長が小さいから、コロナで練習できないからなど、できない理由はいくつも思いつきましたが、そこから一歩踏み出す力は誰にも負けないと思います。競技面でも、ラストイヤーで初メダル、インカレにも出場でき、努力が実を結ぶことも増えました。

こんな4年間を過ごせたのは偏に同期のお陰だと思っています。特に停止期間中も一緒に練習してくれた同期には本当に感謝しています。本当に楽しい4年間でした。ありがとうございました。



井本 太

FUTOSHI IMOTO

文学部美学芸術学科
福岡県立筑紫丘高等学校出身

最高の日々でした、またどこかで会いましょう。



西出 捷人

HAYATO NISHIDE

理工学部インテリジェント情報工学科
同志社高等学校出身

私のボート部生活を振り返るとほとんどは「劣等感」でした。日本一というチーム目標に惹かれ、自身も日本一になると自信満々で入部しました。しかし1年目に同期と比較してエルゴ値が遅く、相当な努力が必要だと覚悟しました。それからは提示されたメニューに加え自主練習にも毎日取り組みました。冬練では下位クルーに向けられた小原コーチの「冬練は誰かが化ける」という言葉を信じ、自分が化けるんだという想いでより一層励みました。自粛期間もエルゴを持ち帰り毎日漕ぎました。しかし活躍していくのは自分ではなく他の同期でした。そして大きな劣等感を抱えたまま4年目を迎えました。最終年の西日本、関東も多くの同期が入賞する中私は結果を残すことができず、漕手を引退しました。しかし裏方として活動する中で、これまでどれだけ漕いでもどれだけバーを上げて消えることのない同期に対する劣等感が昇華され、達成感に変わっていく感覚を持ちました。それは、3年半必死に練習し続けた過程を同期に認められたからだと思います。劣等感を、そして達成感を与えてくれた同期たちには感謝しかありません。本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。



徳前 麟太郎

RINTARO TOKUMAE

法学部法律学科
石川県立金沢二水高等学校出身

私は日本一という目標を掲げ、チーム丸となって何事にも励む先輩たちのキラキラとした姿に憧れて入部を決意しました。あの時から4年があっという間に経過し、遂に引退かと思うと達成感と寂しさでいっぱいです。

私のボート生活は決して華やかではなく、上手くいかないことばかりでした。エルゴのタイムは伸び悩み、水上でも思ったようになかなか漕ぐことができませんでした。正直なところ、何度もボートが嫌になり退部をしようと考えたことがありました。そんな時にいつも支えてくれたのは、私と同じように自分自身の理想と現実の差に跳きながらもさらに努力を重ねる大好きな同期の存在でした。「ボートが好き。もっと上手になりたい」という一心で貪欲に努力をさらに重ねる彼らの姿に私は感銘を受けました。私はボート部を通じて何事にも諦めない粘り強さを学びました。

ボート部で学んだことはまだまだ、たくさんありますがこの枠には収まりきりません。

また、このように多くを学べたのは同期だけではなく、尊敬する先輩方やコーチの皆さま、かわいい後輩、そして家族のお陰です。本当にありがとうございます。そして、これからもよろしく願います。



沖中 朋也

TOMOYA OKINAKA

商学部商学科
東海大学付属仰星高等学校出身

4回生漕手の沖中朋也です。まず初めに、同志社大学ボート部に携わってくださったたくさんの方々の支えにより無事引退を迎えることができました。心より感謝申し上げます。ボート部という場所は自分を大きく変えてくれる場所になりました。高校まで14年間野球をしてきた私が大学に入ってから新しいスポーツに出会い、初めての寮生活。ボート部に入部してから試合では思うような結果を出すことはできなくて悩んだり、つらいこともありましたが、それ以上に楽しいことの方が多かったです。練習が終わってからのダイニングでのくつろぎの時間、布団に入ってからの寝るまでの同部屋の人との話している時間、こんな些細な何気ない時間がとても楽しかったです。みんなに支えられ、特に同期の存在は自分にとって本当になくしてはならない存在でした。

4年間を振り返ると本当に充実した日々を過ごせることができました。これからも人との出会いを大切に、また、自分の可能性を信じて前に進んでいこうと思います。4年間ありがとうございました。



大賀 拓人

TAKUTO OHGA

理工学部電気工学科
同志社香里高等学校出身

まず、監督・コーチ、艇友会の皆さま、4年間支えてくださった関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。皆さまのご尽力があり、ここまで不自由なく競技を続けていくことができました。本当にありがとうございました。

4年間の振り返りとして私の4年間をひと言で表すならば「堅実」です。これは競技面だけでなく、他の面において堅実さは一切ありません。

私は入部した時に「4年目に日本一」という目標を立てその目標に向かって日々練習を行っていました。練習でモチベーションが切れたことは恐らく一度もなかったと思います。このことだけが私自身の誇れる所でもあります。しかしモチベーションを切らさずに過ごせた理由は周りの環境にもありました。私の周りには常に誰かしら頑張っている仲間がいたため、立ち止まることなく堅実に頑張りが続けたことができました。このような環境に身を置くことができたことが一番の財産です。これからの人生でも4年間得た心強い財産を武器に成長し続けていこうと思います。

またこれからはひとりのOBとしてボート部、後輩達を支えていきます。後輩達、心から応援しています。

4年間本当にありがとうございました。



石垣 愛衣

AI ISHIGAKI

商学部商学科
秋田県立本荘高等学校出身

平素より大変お世話になっております。4回生漕手の石垣愛衣です。初めに、同志社大学ボート部に携わってくださったたくさんの方々の支えにより2021シーズンを乗り越えてくれたことを心より感謝申し上げます。

長いようで短かったボート人生を終えて思うことは、「楽しかった」このひと言に尽きます。もちろん、辛いことやうまくいかなかったこともありましたが一度も辞めたいと思わなかったのは、ボートを通じて多くの喜怒哀楽や感動、成長を得ることができたから、そして何よりも仲間と過ごす日々が純粋に楽しかったからです。決して当たり前には味わえることではないと引退を迎えて切実に思います。

また、私のボート部での4年間は周りの人達に支えられて成り立っていたと強く感じます。挫けそうな時、必死に努力を重ねるみんなの姿が私の背中を押してくれました。チームのために多くの時間を費やし、最善を尽くしてくれるサポートのみんなや監督コーチ陣に結果で恩返しをしたいという思いが苦しい時の原動力になりました。ボート部には学年限らず尊敬できる人がたくさんいます。そんな人達と互いに高め合いながら日本一を目指す環境に身を置けたことを誇りに思います。4年間ありがとうございました。



細川 瑞姫

MIZUKI HOSOKAWA

政策学部政策学科
大阪府立清水谷高等学校出身

入部当初を思い返せば、大学に入るまでサポート側を経験したことがなかった私にとってトレーナーという役職は未知のものでした。サポートである以上漕手とコミュニケーションを取らないことには何も始まらないのに、人と打ち解けることが苦手だった私はずっと殻に閉じこもり何も自分からアクションを起こせずにいました。しかし2回生になってからトレーナーの体制が整いはじめ、艇担当制や陸トレのサポートを通して漕手と関わる機会が増えたと漕手の成長意欲の高さや勝ちへの貪欲さに衝撃を受け、心からこの人達をサポートしたい、コミュ障なんて甘ったれたことを言って逃げてる場合じゃないと思うようになりました。それからはボート部のために何ができるかを考えて主体的に動けるようになりました。私はすごく不器用で何をしても効率が悪い人間なので他のトレーナーに比べると部への貢献度は低かったと思います。しかしそんな私のことを仲間として受け入れ、頼りにしてくれました。サポート側にも関わらずいつも私の方が漕手のみんなから支えてもらい成長させてもらっていました。こんな素敵な仲間と出会えたことを誇りに思います。4年間本当にありがとうございました。



伴 航平

KOUHEI BAN

理工学部情報システムデザイン学科
大阪府立千里高等学校出身

ボート部で過ごした4年間は長いようで一瞬だったと考える程に楽しいものでした。特に1、2年生の頃は日々の練習に立ち向かうのが精一杯で、気が付けば3回生になっていたという感じがします。自粛生活もあり、4年間のすべてをボートに捧げることができたというわけではありませんでしたが、それでも満足いく日々を過ごせたと感じています。自分の中でボートを通じて起きた特に大きな変化は、スポーツを楽しむということが初めてできたということです。僕は今までいろいろなスポーツを部活としてしてきましたが、楽しんでやるということが全くできていませんでした。そのため、部活にはあまりいい印象はなかったのですが、ボート部に入って初めて楽しいと思い、その競技を上手くなりたいと思いました。この変化は特に自分の中で大きなものであり、ボートに出会えてよかったと思う理由でもあります。しかし、この変化はボート競技そのものというよりも、先輩、同期、後輩、コーチ、監督など周りの人のおかげであると、今になって強く思います。僕はこの部活の人達に会えてよかったし、感謝しかありません。ありがとうございました。



西村 雅親

MASACHIKA NISHIMURA

社会学部メディア学科
滋賀県立膳所高等学校出身

同志社ボート部での4年間は、自分にとってまさに激動の4年間であったように思います。高校時代は県選抜で国体に入賞することがやっとだった自分が、生意気にも日本一という高い目標を掲げて入部しました。練習への取り組み方も、自分自身の体格やテクニックも、何もかもが高校時代の自分とは違ったものになりました。その結果、1年目にしてインカレ準優勝、2年目にはつきフォアでのインカレ優勝を果たし、3・4年目もインカレ入賞するなど、先輩や後輩、同期のおかげで多くの戦績を残せました。こうして振り返ってみるとどの年にも、言葉では表せないような葛藤や後悔が多々ありました。自分の中で消化できず、仲間に当たってしまったことも、日々の練習から逃げ出してしまったこともあります。しかし、良かったことも悪かったことも、すべて含めての4年間を、私は必死に過ごしてきました。上手くいかずに悩んだ自分がいるからこそ、あの時の日本一の景色は、最後のインカレでの笑顔は、手にできたのだと思います。私はこの同志社大学ボート部での4年間を、残してきた戦績を、誇りに思います。



石川 裕希乃

YUKINO ISHIKAWA

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
大阪府立箕面高等学校出身

果てしなく遠い夢に向かって戦い続けた3年半でした。4年前、人に魅力を感じて入部を決めました。しかし、瀬田での生活は楽しいことばかりではなく、なかなかボートを好きになれない日々が続きました。それでも、1着でゴールして艇の上で仲間と手を握り合った瞬間、支えてくれた人が私の結果を自分のことのように喜んでくれた瞬間、エルゴを前にしてもうダメだと思った時、後ろから声が聞こえた瞬間、練習後にみんなと笑い合った瞬間、ボートを、ボート部を好きになるには十分すぎるくらいのかげがえのない瞬間を過ごしました。どんな時も私の側にはたくさんの方がいてくれました。自分にとっての原点である"人"に支えられ続けてきました。ただ過ぎていくはずだった毎日がこんなにも何かに夢中になれる毎日になったのはボート部のおかげです。そして、ここで過ごした時間もここで出会った仲間もこれから先もずっと変わらない宝物になりました。最後になりますが、これまで支えてくださった監督、コーチ、OBOGの皆さまに心から感謝申し上げます。そして何より、一番近くで応援し続けてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



山本 紗奈

SANA YAMAMOTO

社会学部メディア学科
同志社女子高等学校出身

19冊。4年間で書き溜めたボート日誌の冊数です。引退を機にすべて読み返すと、たくさんの方の「名前」が出てきました。お世話になった監督コーチ陣の皆さま、私をボートにのめり込ませてくださった先輩方、慕ってくれた頼もしい後輩達、そして自慢の同期達の名前です。読み返すほどに、たくさんの方々に手厚くご指導していただき、支えてもらったこと、そして、その想いに応えたいと強く誓った当時の自分の感情が思い出され、胸が熱くなりました。体格も筋力もセンスもない私ですが、こうして女子部主将として胸を張って引退を迎えられたのは、周りの方々に恵まれたおかげとしか言いようがありません。

そして改めて実感したことは、自分を信じてくれる人がいることの心強さです。負けて、負け続けて、情けなくて、どれだけ自分のことが嫌になっても、私のことを信じてくれている人がいる。私が勝つことを一緒に夢見てくれる人がいる。その存在に何度も背中を押され、救われてきました。感謝しかありません。本当にありがとうございました。この4年間のすべてが、私の人生にとって大きな財産になりました。これから社会人として社会全体に、そして同志社大学ボート部に、一生をかけて恩返しします。



山崎 優有

YUURI YAMASAKI

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
中京大学附属中京高等学校出身

「日本一」この言葉に魅かれて私はボート部への入部を決めました。何もわからない中で自分に何ができるかを模索し、加古川で勝つことの難しさをサポートしながらに痛感した1回生。同期クルーで臨んだ全日新でボート競技の楽しさ以上に同期の大切さを改めて確認した2回生。先輩が引退した寂しさや全日新後の燃え尽きによって、モチベーションが保たず同期や先輩後輩にたくさん迷惑をかけた3回生。主務として自分ができていることを悔いなくやると決め、ボート部を離れたいと毎日思いながら過ごした4回生。この4年間、泣くほど嬉しいことも泣くほどしんどいことも経験しました。エルゴのタイムが思うようにいかず悩む同期と2人で真っ暗な艇庫で話したり、くだらない話で同部屋の同期と涙が出るほど笑ったり、周りの人とうまくいかず真冬の夜中に泣きながら自転車をこいでフィフスに帰ったり、事務室で同期と他愛もない話やボートの話をしたり、思い出は尽きません。ボート部で過ごしたすべての時間、関わってくださったすべての人が私にとって本当に大切なものです。

最後になりましたが、これまで支えてくださったOBOGの皆さま、監督コーチの方々、先輩後輩、そして同期のみんな、どんなときも味方でいてくれた家族、4年間本当にありがとうございました。



堀 啓造

KEIZO HORI

経済学部経済学科
金光学園高等学校出身

まずは、偏に首脳陣の皆様、OB、OGの皆さま、先輩、後輩、そして、130期の同期みんなに支えられたお陰で4年間を自分らしく終えることができたと感じております。本当にありがとうございました。

あの日、ブラザーの福島大智さんに声を掛けていただいてから全てが始まったと思うと感慨深いです。今思えば本当に僕は阿呆だったんだなと思います。初めて艇に乗って速い!と思った日、朝4時に冬の寒空を見上げた時にめちゃ星綺麗やん!と思った日。阿呆ですね。本当に辛い時に同期や先輩、後輩とダイニングで笑いあったあの日、レースや選考で負けた日、初めてレースに勝つことができた日、コロナで教育実習に行けず漕手をやめざるを得なくなった日、さまざまな日常でしたが、どの日もボート部を本気で辞めようと思ったことはありませんでした。

これは同志社ボート部の一番素敵な特徴である「人の良さ」があってこそだと思います。この4年間のおかげで人との出会いや縁は大切にしたいと思うようになりました。後輩たちも苦しい時は周りを見てください。きっと仲間が支えてくれるはずですよ。拙い文章ではありますが、改めて4年間本当にありがとうございました。



佐藤 遼奈

HARUNA SATOH

商学部商学科
宮城県立仙台南高等学校出身

約4年間大変お世話になりました。振り返るとたくさんの人に支えられたからこそ部活を続けて来られたと思います。

大変だったことやつらかったこともありましたが、それがあったからこそ楽しい思い出や仲間ができたとおもいます。後半は食事提供もなく、部活に行く回数も減り、正直部活をしている実感がありませんでした。1回だけでも食事提供したかったという心残りがあります…

最後に土曜のカレーとヨーグルトをみんなで食べたかったです。よくマネージャーは縁の下の力持ちなんて言われますが、部員全員がそれぞれ頑張る姿に私は支えられていました。むしろ持ち上げられていたと思います。

私は気付くのが遅かったですが、見えないところで仕事や練習を頑張っている仲間がずっといます。そういう人のことを考えてみると、もっと相手に優しくなれたり互いに気遣い合うことができるそんな関係になれると思います。後輩たちにはこれを頭の片隅に置いておいてくれたらいいなと思います。

最後になりますが、OBOGの皆さま、保護者の皆さま、ポート部に携わってくださったすべての方に感謝申し上げます。

そして現役の皆さまがこれからも頑張ってください！遠くから応援しています。



細川 奈央

NAO HOSOKAWA

政策学部政策学科
関西大倉高等学校出身

思い返すと本当に濃い4年間だったと改めて感じます。ポート部に入部したばかりの頃は、生活のすべてが非現実のように目まぐるしく過ぎていきました。思い返しても苦しかった瞬間はたくさん出てきます。COXという立場に戸惑うことや、ハードな生活、焦り不安になることだらけでした。それでも、頑張っている部員や、悩みを話し合える仲間がいて、引っ張ってもらえていたのだと思います。そして、そんな中でも、忘れられないようなかけがえのない瞬間がたくさんありました。自分のコールに応えてくれる声や艇速、競っているレースなど一生忘れられない経験をいくつもすることができました。入学当初はこんな大学生活を想像もしていませんでしたが、とても貴重なものになりました。月曜日の夜に泣きながら向かう合宿所や、日曜日の夜に行く部員とのお飯など、どれも大切な思い出です。

最後になりましたが、監督、コーチ、OBOGの皆さま、そして一番近くで支え合った大好きで大切な同期、いつも温かく見守ってくれた家族、関わってくださったすべての方々の支えがあり、この4年間を過ごすことができました。

今まで本当にありがとうございました。



谷本 陽花

HARUKA TANIMOTO

政策学部政策学科
三重県立津高等学校出身

はじめに、艇友会の皆さま、監督、そしてコーチの方々に多大なるご支援、ご指導をいただきましたことを厚く感謝申し上げます。

ここでは、私がポート部で学ばせてもらった2つのことを書かせていただきます。

ひとつ目は、たくさんの人のおかげで自分がいるということです。入部してからの3年半の中で、苦しい時期が何度かありました。そんな時、「もっと頼っていいよ」と言ってくれ、励ましや自信をくれた同期や、そっと背中を押してくれた家族がいました。これまで人に頼ることが苦手で、人と距離を置いてしまいがちだった私が、たくさんの人に支えられていたことを実感した3年半だったと思います。

2つ目は、いろんな考え方を持つ人がいるということです。共同生活をする中で、自分の当たり前が通用しなかったり、この人はこういう経験からこんなふうに見えるのかなと感じたり、たくさんの方の生き方や考え方に触れる中で、新しい発見があり、自分自身の考え方の幅が広がったように思います。

最後になりましたが、ポート部に入り、家族のような先輩や後輩、同期に出会えたことが私の人生の財産であり、一緒に戦えたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。



奥林 涼菜

SUZUNA OKUBAYASHI

理工学部化学システム創成工学科
群馬県立太田女子高等学校出身

田舎から1人出てきた1回生の私は、これからは胸を輝かせる一方、寂しい思いが大きかったです。聞き慣れない言葉で進んでいく会話に困惑してばかりでした。

そんな時新歓で声をかけて下さったポート部の先輩方は、面白くて暖かくて、輝いていました。当然のように惹かれました。1ミリも知らないボートを4年間漕ぐ決断はかなり勇気のいることでしたが、そこまで迷わず決めてしまう程に強い引力が確かにありました。その時決めたのはポート部に入って良かったと自信を持って引退すること。

いろいろありました。1回生の時は環境の変化、勉強、練習量の多さで激流にもみくちゃにされてるような日々でした。意地だけで続けました。

2回生でシーズンが始まってからはすべてが変わりました。試合の高揚感、クルーとの熱い瞬間、勝利の味。その場にいることの喜びを噛み締める瞬間ばかりでした。

3回生では後輩との関わりも増え、気付けば私を勧誘してくれた先輩方のようなポート部員に近づいていました。

輝かしい戦績を残せたとは言いがたいです。しかし自信を持って言えます。ポート部に入って良かったと。自分はどれだけ強くて、何でもできるんだと気付かせてくれたポート部に、恥じない自分になることが次の目標です。



藤本 美玖

MIKU FUJIMOTO

法学部政治学科
兵庫県立御影高等学校出身

ポート部の魅力について目を輝かせて話してくださる先輩方に魅かれ、直感的に入部を決めました。マネージャーの先輩方に憧れ、部のために最大限の力を尽くしたいという思いでいっぱいだった1回生の頃を懐かしく思います。

2シーズンは、コロナの影響でご飯作りなどの従来のサポートができませんでした。ご飯美味しかったですという言葉も聞けず、やるせなさや切なさでいっぱいでした。正直、4年間、マネージャーとしての自分の存在意義を考え悩むことが多かったように思います。

それでも、周りの人たちの存在が、私にとっての原動力で心の支えとなり、最後まで頑張ることができました。寒い日も暑い日も厳しい練習に打ち込む漕手、尊敬できる先輩、思いを分かち合える同期マネージャー、かわいくて頼りになる後輩、Facebookやメールで温かい言葉をくださるOBOGの方々…多くの方々に支えられ、部のために自分なりにできることを考え動く日々が自然と夢中になっていました。

誰かのために試行錯誤し一生懸命になる楽しさも、感謝される喜びも、チームが勝利した時の感動も、ポート部のマネージャーだったからこそ、経験することができました。最後になりましたが、監督、コーチ、OBOGの皆さま、関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。



春田 ひかる

HIKARU HARUTA

法学部法律学科
兵庫県立星陵高等学校出身

私の人生における最大の自慢は、常に人に恵まれているということです。それはポート部においても変わりません。スポーツとは縁遠い人生を送っていた私がポート部に入ったのは、熱くて面白い先輩方がいたからです。最後まで続けることができたのは、支えてくれた同期・後輩がいたからです。マネージャー業に自信が持てず悩んだ時に、変わるきっかけくれたのはOBOGの方の存在でした。真剣に競技に向き合い努力を重ねる選手・COXの姿にいつもパワーを貰いました。トレーナーの、選手を第一にサポートを行う姿は私の憧れであり目標でした。支え合い、どんなことも共に乗り越えてきたマネージャーは、いわば戦友のような存在です。マネージャーとして部を支えたというよりもむしろ、私が皆に支えられた3年半でした。

ポート部を通じて出会ったすべての方とのご縁が私の宝物です。もう会えない人の方が多いかもしれませんが、「同志社大学ポート部」という繋がりがある以上、きっとこのご縁が途切れることはないと思います。たくさんの方を学び、支えられ、成長した3年半でした。本当に、本当にありがとうございました。



三品 真里子

MARIKO MISHINA

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
大阪府立春日丘高等学校出身

期待を胸に入部を決意したあの日が遠い昔のことのように感じられる一方、あっという間の4年間だった気もします。大学生が寝始める時間からの星空の下の練習、手にできる痛々しいマメ、自由のない共同生活、遊ぶ時間のない日常から何度も逃げ出したいくなりました。数えきれない挫折を経験し、常に成長が見えない不安にもがき苦しんだ3年半でした。それでも今引退を迎え、続けて良かったと心から感じます。苦しい時、周りにはいつも寄り添ってくれる仲間がいました。ベストがでた時、自分のことのように喜んでくれる仲間がいました。心から尊敬できる部員たちのひたむきに頑張る姿や前向きな志に何度も助けられました。そんな部員たちと共に、誰よりも汗と涙を流し、さまざまな感情を味わい、走り続けてきた3年半は言葉で表せないほど濃く、生涯の宝物となりました。そして困難と向き合い続け、引退までやり切ったという事実は自分の誇りです。

最後になりましたが、支えて下さったコーチOBOGの皆さま、応援し続けてくれた家族、頼れる先輩、頼もしい後輩、そして1人ひとりそれぞれに尊敬する所がある大切な同期、全員に心から感謝します。本当にありがとうございました。



松元 遥香

HARUKA MATSUMOTO

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
鹿児島高等学校出身

4年前、陸上部に入ると決めて入学したのですが、気づいたらポート部に入部し、引退の日を迎えました。日本一という言葉と先輩方に惹かれて入部したこと、この選択は間違っていないかと引退した今は心の底から思います。しかし、こう思えるようになるまでの道のりはとても険しかった気がします。

大学に入るまで努力が結果に結びついてきた私にとって、頑張っても、もがいても、それでも結果が出ない日々はとても苦しいものでした。ボートの楽しさなんて分からず、ただ毎日を過ごすのが精一杯の時期もありました。それでも続けてこられたのは入部した動機でもある先輩方、そして同期のおかげです。

4年間、試合では全く結果を残せませんでした。最後2000mttで大幅にベストを更新して8分を切ったあの瞬間は今までの努力が報われた忘れられない瞬間です。そして紗奈とインカレに出場して、最後に少しかボートが好きになりました。

振り返ってみると苦しいことばかりだった気がしますが、今はポート部に入部した自分を、4年間続けてきた自分を誇りに思っています。

最後に、いつも味方でいてくれる家族に感謝したいです。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

4年間ありがとうございました。

2022年度

現役部員紹介



①学部・学科 ②出身高校 ③身長/体重 ④来シーズンに向けてひと言



みさわ こうたろう
三沢 康太郎【副将】

- ① 法学部法律学科
- ② 佐野日本大学高等学校
- ③ 176 cm / 74 kg
- ④ 「笑って終わる」



おかもと のぼる
岡本 登【主将】

- ① 法学部法律学科
- ② 徳島県立海部高等学校
- ③ 174 cm / 75 kg
- ④ 日本一

新4回生



よりた ふか
寄田 風花【副務/トレーナー】

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社女子高等学校
- ④ 貢献します



たばた あやな
田畑 綾奈【主務/トレーナー】

- ① 商学部商学科
- ② 同志社高校
- ④ 駆け抜けます。



うちやま みどり
内山 碧【副将/cox】

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 静岡県立浜松北高等学校
- ③ 152cm
- ④ 熱誠



えんどう ひろまさ
遠藤 寛昌

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 広島県立広島観音高校
- ③ 159cm/63kg
- ④ 悔いなくやり切る



いそもと はやた
磯本 迅汰

- ① 社会学部産業関係学科
- ② 奈良県立平城高等学校
- ③ 183 cm / 86 kg
- ④ 頭を使ってボート競技と向き合う



ながまつ
永松 サムエル【会計】

- ① 経済学部経済学科
- ② 私立暁星高等学校
- ③ 181 cm / 80 kg
- ④ 今年こそは勝ちます。



かきやま ひろき
柿山 弘樹

- ① 法学部法律学科
- ② 大阪府立住吉高等学校
- ③ 176 cm / 80 kg
- ④ 勝ちにこだわる。



おちあい こうだい
落合 航大

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社国際高校
- ③ 182 cm / 76 kg
- ④ 勝ちまくる



おかべ てっさい
岡部 哲斉

- ① 商学部商学科
- ② 熊本学園大学付属
高等学校
- ③ 164 cm / 67 kg
- ④ ラストシーズン頑張ります



かみはた ゆうたろう
上嶋 勇太郎

- ① 文学部国文学科
- ② 鹿児島高校
- ③ 172cm/71kg
- ④ インカレ入賞する



かみがき ただまさ
神垣 忠政

- ① 経済学部経済学科
- ② 桃山学院高等学校
- ③ 184 cm / 78 kg
- ④ 結果にコミットする



かたやま なつみ
片山 夏貴

- ① 政策学部政策学科
- ② 追手門学院高等学校
- ③ 174 cm / 74 kg
- ④ ラストシーズン頑張ります！

卒業生の言葉



安岡 京香

KYOKA YASUOKA

商学部商学科
国立京都教育大学附属高等学校出身

4年間ありがとうございました。まだ何も分からなかった1回生では、マネージャーとして入部し、仕事を覚えること、そして先輩方についていくことに必死でした。そこから、さまざまな経験をし、成長していく上で多くのことを学ばせていただきました。3回生の途中からは統制として過ごし、あっという間に時間が過ぎてしまいました。統制として、マネージャーをまとめることができたのも、支えてくれた同期マネージャーや、ついてきてくれた後輩マネージャーのおかげだと思います。マネージャーとして、選手の近くでサポートし、選手の頑張っている姿を形にして残すことができ、サポートとしてのやりがいも4年間を通して感じることができました。選手以外にも、たくさんのOBOGの皆さま方と関わらせていただき、すべてが自分にとっての成長に繋がりました。この経験は私にとって大きな財産です。最後になりましたが、4年間変わらぬご支援、ご指導をしてくださった監督、コーチ、OBOGの皆さま方、誠にありがとうございます。現役の皆さんも、体に気をつけて、これからも練習頑張ってください！応援しています。



中森 佐和子

SAWAKO NAKAMORI

社会学部社会福祉学科
鳥取県立鳥取西高等学校出身

入部当初は、慣れない一人暮らし、学校、バイト、そして部活と毎日必死でした。辞めようと思ったことも何度もありました。それでも頑張れたのは優しい先輩方、かわいい後輩たち、そして何より素敵な同期の皆がいてくれたからです。いつも頼ったり迷惑をかけたりしてばかりでしたが、皆と出会えたのは大学生活における宝だと思います。終わってみればあっという間だったという感じがしますが、最後の学生生活を素晴らしい仲間たちと過ごし、多くの経験と学びを得ることができ、本当に良かったです。

そして、武田監督をはじめコーチの皆さま、幹事の皆さま、OBOGの皆さまにも大変お世話になりました。艇友会担当マネージャーとして皆さまと関わる中で、たくさんのご指導や応援の言葉をたまわり、私自身、人として一層成長できたと感じます。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、現役部員の皆さん、感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、毎日を大切に過ごしてってください





かとう まさたか
加藤 雅隆

- ① 社会学部社会福祉学科
- ② 名古屋高校
- ③ 174 cm /68 kg
- ④ 成長



いしだ かずき
石田 和己

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社高校
- ③ 175 cm /66 kg
- ④ 文武両道

新3回生



はやし そういちろう
林 颯一郎

- ① 社会学部産業関係学科
- ② 東山高校
- ③ 174 cm /83 kg
- ④ ちゃんとする。



はしもと なおと
橋本 直人

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 高槻高校
- ③ 167 cm /70 kg
- ④ 起死回生



なかむら まさみち
中村 証道

- ① 文化情報学部
文化情報学科
- ② 兵庫県立
須磨東高等学校
- ③ 180 cm /70 kg
- ④ 全力で頑張ります



うちだ まほ
内田 真歩

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 東京都立新宿高等学校
- ③ 151 cm
- ④ 毎日楽しく全力で！



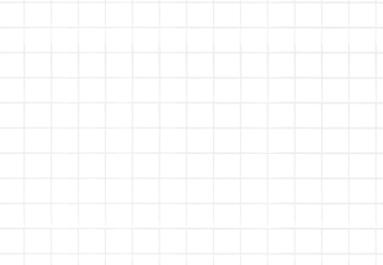
まえだ ゆうた
前田 悠太

- ① 文化情報学部
文化情報学科
- ② 高槻高校
- ③ 166 cm /63 kg
- ④ 成長する



ふくじょう たける
福條 武琉

- ① 商学部商学科
- ② 兵庫県立洲本高校
- ③ 180 cm /76 kg
- ④ 全国のメダルをとる



はたけやま れいか
畠山 麗香
【マネージャー】

- ① 商学部商学科
- ② 北海道
札幌東商業高等学校
- ④ 射石飲羽



みやもと あや
宮本 彩矢
【トレーナー】

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社女子高等学校
- ④ 今日できることは
明日に延ばすな



こもり かずき
小森 一毅

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社高校
- ③ 177.8 cm /80 kg
- ④ 臥薪嘗胆



こにし たつや
小西 辰弥

- ① 法学部法律学科
- ② 報徳学園高等学校
- ③ 168 cm /70 kg
- ④ ラストシーズン、最後
まで走り抜けます。



こうだ なると
神田 成仁

- ① 経済学部経済学科
- ② 山口県立徳山高等学校
- ③ 172cm/72kg
- ④ インカレで勝つ



ふじき たかや
藤木 貴也

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 和歌山県立桐蔭高校
- ③ 173 cm /70 kg
- ④ 燃え尽きる



つねふじ あきと
常藤 壮人

- ① 社会学部社会学科
- ② 清教学園高校
- ③ 176 cm /75 kg
- ④ 強く凛々しく美しく



たかぎ あゆま
高木 歩真

- ① 神学部神学科
- ② 岡崎城西高等学校
- ③ 172cm/65kg
- ④ 最高の1年にする！



たにもと みいな
谷本 美伊菜

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 同志社高校
- ③ 159 cm
- ④ 追い込みます！



やまもと あゆむ
山本 歩武 [COX]

- ① 法学部法律学科
- ② 福岡県立育徳館高校
- ③ 165 cm /58 kg
- ④ 納得のいく1年を



まつかわ かずき
松川 知生

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社国際高校
- ③ 172cm/74kg
- ④ 最後の追い込み



やまかわ けいか
山川 慶衣果
【トレーナー】

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社国際高等学校
- ④ できることを全力で



おおえ あきのり
大江 彰紀
【トレーナー】

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 仙台第一高等学校
- ④ 部のためにできることは
すべてやります



おおはし ぎんじ
大橋 吟次
【トレーナー】

- ① 理工学部電子工学科
- ② 彦根東高校
- ④ 後悔しない1年にする



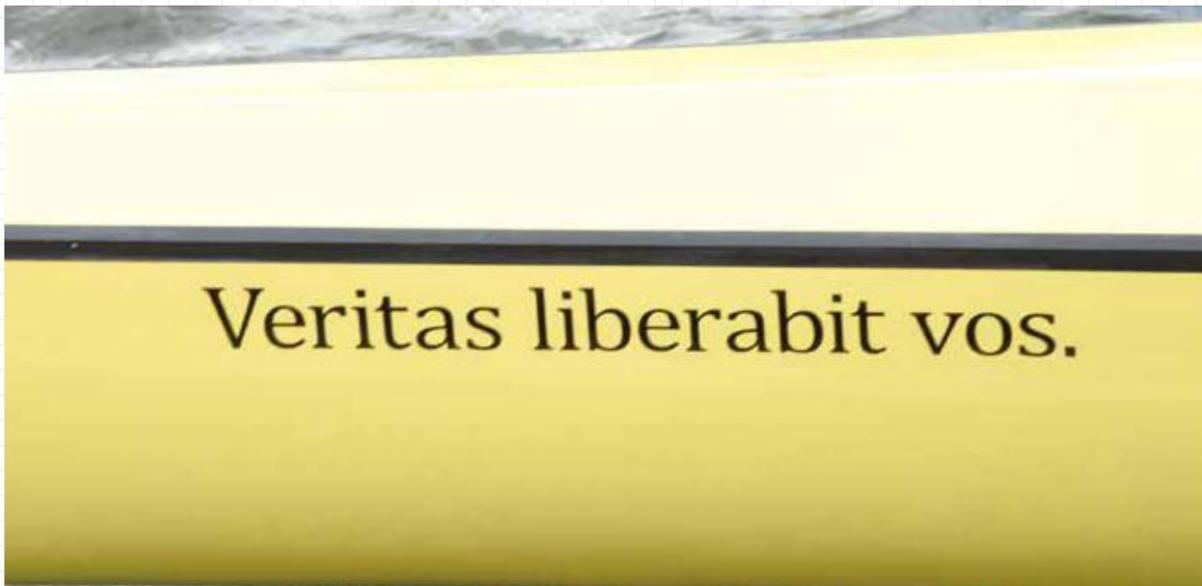
みに あやの
三谷 彩乃
【マネージャー】

- ① 政策学部政策学科
- ② 香川県立高松西高等学校
- ④ 悔いのないよう全力で
サポートします。



いしだ ひなこ
石田 比奈子
【マネージャー】

- ① 経済学部経済学科
- ② 福岡女学院高校
- ④ 全力でサポートして、
全力で楽しみます！





株式会社 王子製作所

船舶用機装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
TEL (0794)37-1600(代)
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
TEL (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

新2回生



かのう しょう
加納 尚
① グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
② 同志社高校
③ 174 cm / 72 kg
④ 負けない



あおき ゆうた
青木 優太
① 法学部 法律学科
② 世田谷学園高等学校
③ 182 cm / 77.3 kg
④ 平常心是道



たかしま だいすけ
高島 大介
① 経済学部経済学科
② 新潟第一高校
③ 172 cm / 74 kg
④ 耐え難きを耐え、
忍び難きを忍びます。



じょう ひろみ
城 博海
① 経済学部経済学科
② 六甲学院高校出身
③ 172 cm / 60 kg
④ 筋肉日々成長



しまむら こうき
島村 昂希
① 商学部商学科
② 熊本学園大学付属高校
③ 189 cm / 90 kg
④ 強い同志社の礎を築く



とくなが せい は
徳永 誠波
① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
② 広島工業大学高等学校
③ 180 cm / 70 kg
④ 臥薪嘗胆



ただ ゆうま
多田 悠真
① 商学部商学科
② 京都府立嵯峨野高等学校
③ 179 cm / 70 kg
④ 日進月歩



たかぎ ともや
高木 智弥
① 法学部法律学科
② 徳島県立海部高等学校
③ 172 cm / 70 kg
④ 速くなりたいです



おちあい ひの か
落合 陽乃花
① グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
② 彦根東高校
③ 168 cm
④ 笑顔で終われる1年に
します



やすおか しょうたろう
安陵 将太郎
① 商学部商学科
② 清風高校
③ 180 cm / 75 kg
④ 柔を以て剛を成す



ふくみ こうたろう
福味 孝太郎
① 心理学部心理学科
② 熊本県立済々黌高校
③ 181 cm / 70 kg
④ 強くなります。



かいこう あやか
開高 礼香 [COX]
① 政策学部政策学科
② 同志社香里高等学校
④ 感謝を忘れず、
努力し続けます。



てさき ふう
手崎 楓
① グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
② 兵庫県立御影高校
③ 162 cm
④ 頑張ります！



しみず さやか
清水 彩夏
① 社会学部メディア学科
② 山梨県立吉田高校
③ 163 cm
④ 成長する



やすだ みつき
**安田 光希
【マネージャー】**
① 同志社女子大学
看護学部看護学科
② 大阪桐蔭高校
④ 全力でサポートできる
マネージャーになる！



やまうち せい ら
**山内 聖良
【マネージャー】**
① 同志社女子大学
現代社会学部
社会システム学科
② 奈良県立奈良北高等学校
④ サポート精一杯
頑張ります。



すぎえ まゆ こ
**杉江 真由子
【マネージャー】**
① グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
② 同志社香里高等学校
④ 部に貢献できるよう
頑張ります！

がんばれ、同志社大学!



共に運びます！
個性と絆を・・・
最高の熱量をもったあの場所へ

—信頼と実績の輸送—

広栄運輸株式会社

〒664-0006 兵庫県伊丹市鴻池 4-3-3

【お問い合わせ】

TEL : 072-779-7008 (代表)
FAX : 072-779-7117
Mail : info@koeiunyu.co.jp
URL : https://koeiunyu.co.jp



ストレングス&
コンディショニングコーチ

堀田 裕希

今シーズンもコロナの影響を大きく受け、大変悔しい1年となりました。
個人的な総括としては、インカレ1ヵ月前のフィジカルの状態は、過去一番の仕上がりであったと自負しています。身体のサイズ、キレ、エルゴタイム、十分に日本一を狙えるポジションであったと思います。
しかしながら、インカレを直前にコロナの影響を受け、活動自粛となりました。自粛期間中、そして活動再開後もできる限りの努力はしましたが、体力が戻り切らずにインカレを迎えたというのが実情でありました。
日本一を狙える力があつたからこそ、非常に悔しい思いをしました。しかし、感染症対策を含めた組織としての弱さを露呈した1年でもありました。
こうした思いを二度としないように、組織力をさらに高めて、もう一度、日本一を狙える状態を築き上げていきたいと思います。引き続き、変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



リガー

大越 将洋

2021年シーズンも機材担当コーチを務めさせて頂きました大越です。皆さまご存知の通り、今年もコロナ禍により大半のレースは中止、最重要レースであるインカレは9月初めから10月末開催へと変更になりました。しかも、そのインカレ直前の重要なタイミングに、2週間の活動停止も余儀なくされ、過去に類を見ないタフなシーズンとなりました。そんな大きなハンデを追う中に於いて、少しでも不利な状況にならないよう、艇やオールの整備をしっかりと施し、選手達が艇上で持てる力を発揮するためのサポートはできたと思っています。来シーズンはエイトやクォッドがインカレ最終レースのスタートに付けられるよう、引き続きの機材サポートをして参ります。



メディカルコーチ

山岡 彩加

2022シーズンスローガン「真価」を発揮するための基盤、それは「心身のコンディショニング」です。現場には、頼りになるケアチームの学生トレーナーのみなさんがいます。現場で解決しきれない課題には、私や連携先のスポーツ医療者が一緒に対応します。前代未聞のコロナ禍で走り抜けた昨シーズン、ケアチームはオンラインで細かく連携を取り合い、選手が最大限のパフォーマンスを発揮できるケアを模索し、インカレ入賞レースの出艇直前までサポートしました。ボート競技にチャレンジする以上「上手く付き合う」ことが求められる腰痛・肋骨痛は、早期対応で予後が大きく変わります。選手のみならず、違和感の時点でケアチームにご相談を！



コーチ

小原 隆史

ヒューマンリソース(安全/生活)「命を守る！」担当のH3卒小原です。
事故を起こした部員の面談で、よく耳にする言葉が「意識が低かった…」
その際必ず行う質問は、「もし自分の大切な人が、今回の事故被害者だったら？」その反省で納得できますか？
「強くなりたい！」「レースで勝ちたい！」と練習する中で、事故は起こります。
学生の安全対策の取組みは、どんな些細な事故でも隠さず報告する仕組みになっています。
軽微な事故の内に芽を摘むことが大切で、『安全への取組みに終わりはない！』
学生達の充実したボート部生活を安全面から支援できるよう、まずは私自身が常にアップデートし、還元できるよう努めたいと思います。



コーチ

田井 哲郎

男子コーチ H29卒田井です。
艇友会員・保護者の皆さまにはコロナ禍の中、学生へ多数の差し入れを頂くなど日頃よりご支援・ご協力をいただき誠に感謝しております。
昨年、対校エイトは全日本において順位決定5位(大学8位)となりましたが、技術精度はまだまだ荒削りであり向上余地を多分に残しております。ただ試合期間を通じて明るい雰囲気を保ちつつ1レース毎に明確な成長を見せてくれた彼らを誇りに思いますし、コーチとしてチームに関わる以上、来年度は勝つクルー・勝てるチームを作ることが私の仕事だと理解しています。来期、学生には目標へ妥協することなくハードワークを求めます。
皆さまには引き続き彼らを応援いただければ幸いです。



コーチング スタッフ紹介



同志社大学体育会
ボート部 部長

志賀 理

2021年10月17日、前ボート部長岡本博公先生が急逝されました。73歳というあまりにも早いお別れ、悲しみにたえません。岡本先生がボート部長退任のご挨拶をされた時に、部長を務められた25年間の歴代主将の名前をすべて覚えておられたことを今でも思い出します。情熱をもってボート部に接してこられた岡本先生のご冥福をお祈りいたします。
ボート部創部130周年を迎え、艇友会の皆さまには、ボート部の活動を支え続けていただき、心よりお礼申し上げます。体育会各部では、コロナ禍で今までどおりではない活動となり、伝統が途切れてしまっているのではないかと懸念されています。しかし、ボート部では、艇友会の皆様のボート部、現役員に対する熱い想い、ご支援のおかげで、「同志社オアズマンシップ」は受け継がれていくものと確信しております。どうか今後ともなお一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。



監督

武田 知也

2022年シーズンは食事提供なし、合宿生活なし、練習時間制限の3重苦に加え、突然来る活動自粛要請との戦いでした。中でも関西では比較的優位を維持できトップクルーを中心に関西では遜色ない戦いをすることができました。関西選手権以降はさらに不自由な活動が続き、全日本大学選手権では満足のいく結果とはいえませんでした。少なくとも男子8+、女子4×が最終日まで残ってくれたことは収穫であったと思います。
インカレ総合の五指からは一時後退してしまいましたが、さらに過去を検証し、未来を見据え、やるべきことを大胆にやる組織として、指導陣をさらに強化し、同志社スポーツとボート界の未来を切り拓く存在として進んでまいります。



監督補佐

原 一雅

同志社艇友会員のみなさま、保護者のみなさまには日頃よりボート部に対しましてご支援ご協力をいただきありがとうございます。
強いチームを作るうえでとても重要であり基本的で必須な課題として、
① 基礎的な筋力・パワーの増強、フィジカルの強化
② ローイング技術の向上
③ 強い体作りのための食事
④ トレーナー・マネージャーによるサポート体制
⑤ 新入生勧誘で部員を増やし部内競争の活発化でチーム力を高める
だと考えています。
選手もサポートの部員たちも、とどまることなく成長を続けています。彼ら彼女らの目標達成のため、2022年シーズンも微力ながらバックアップをさせていただきます。



フィジカルコーチ

岩井 雄史

東京オリンピックボート競技において日本選手はメダル獲得に至らなかった。この結果は最近の同志社大学漕艇部の戦績の象徴に見えて仕方がなかった。2021年度男子エイトで日本一を狙った。その期待を感じさせた春先。しかし、未曾有の出来事に快進撃は崩れてしまった。だから、指導陣も悔しさあふれるシーズンだったことは永く記憶に残る。歴史的転換、技術革新は常に重圧がかかるところから始まる。もがき苦しむ中で見つけるかすかな灯を大切に育てることが新しい未来の扉を開ける。2022年度シーズンは新しい挑戦とともに関西最強から日本最強になる転換期にする。堀田ストレングスコーチのプログラムデザインに期待してほしい。

令和3年度 ボート部にご支援いただいた皆さま

いつもご支援ありがとうございます。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。

昭和39年卒 中原 克巳	昭和58年卒 小森 進治 和田 学	平成4年卒 谷 昌二郎 小林 重之	平成13年卒 井口 順太 銭谷 剛志	平成25年卒 鈴木 直道 中田 幸祐	令和元年卒 末次 真夏 木村 俊貴
昭和40年卒 廣田 恒夫 石本 君夫	阿部 和久 松田 弘一 高山 一也	小田切 拓 加藤 康 功力 英俊	高橋 毅 吉田 亮 高橋 弥紀(津田)	谷田 浩毅	西田 樹乃 斎藤 暢子 二神 ころこ
昭和44年卒 宮城 博	明石 逸二 貝賀 俊之	勝本 肇 吉田 拓生 米山 尚吾	平成14年卒 山田 篤	平成26年卒 池本 雅基 万木 恭介 檜垣 聡志	大下 瑞季 山本 瑠依 亀井 美紀子 園 美沙都 竹内 裕希
昭和45年卒 高橋 滋	昭和59年卒 米村 康弘 河南 潤治	平成5年卒 内田 琢也 井上 賢二	平成15年卒 木口 学	平成27年卒 日比野 聖司 君和田 剛大 丸尾 拓也	令和2年卒 戸田 一郎 安藤 優作 生駒 宏武
昭和46年卒 大橋 行正	昭和60年卒 伊藤 寛 石鍋 寿久	平成6年卒 押領司 哲也 木内 良典 喜多 栄太	平成16年卒 今東 俊雄 中村 洋太郎 堀内 康武	佐藤 拓朗 太田 圭佑 川村 佳苗	大谷 大 清水 諒 神宮 健輔 田川 凌大 中澤 正浩
昭和47年卒 横山 基嗣	矢野 英明 小森 康充	竹内 秀暢 中澤 郁男 中西 孝夫	村井 亮	三島 奈々 新垣 彩美	大谷 大 藤岡 天翔 藤原 嵩 山本 幸之介 藤本 亮
昭和48年卒 若菜 英作	昭和61年卒 川崎 五代嗣 高下 康治	早坂 真一 藤井 啓宏 堀内 昭宏	平成17年卒 家弓 正史 渡辺 雄介	平成28年卒 今富 圭一 中小路 悟	山口 弘人 宇佐見 侑紀 竹本 咲良 大田 彩葉 日花 奈々子
昭和50年卒 宮地 信行	磯田 秀樹 谷川 真司	松城 敬 余谷 有紀枝	平成19年卒 角谷 明彦 中村 周作 古矢 礼子	中小路 悠 大隅 清貴 葉山 顕祥	山本 幸之介 藤本 亮 山口 弘人 宇佐見 侑紀 竹本 咲良
昭和51年卒 武尾 豊	安田 智雄 安田 克裕	平成7年卒 佐伯 明 伊藤 崇	平成20年卒 片岡 勇人 可児 怜史	大隅 清貴 葉山 顕祥 山田 高輝 勝島 愛	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和52年卒 荻野 義明 中野 貴夫	昭和62年卒 奥谷 勇人 樋口 健一郎	小吹 悟 藤牧 宏彰	平成21年卒 川口 正嗣 瀬川 敏克	平成29年卒 田井 哲朗 中來田 悠介	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和53年卒 河畑 宣伸 馬杉 淳一	屋久 浩典 藤田 哲哉	平成8年卒 岡本 和彦 木原 聡	川口 正嗣 瀬川 敏克 有木 良輔	津田 邦泰 阪 悠樹 平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和54年卒 木村 俊雄 高橋 正樹	志賀 理	小林 賢史 武田 知也 白田 圭助	有木 良輔 北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和55年卒 小関 隆一 益田 秀仁	昭和63年卒 阿江 克彦 原 一雅	武田 知也 白田 圭助 山川 優	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和56年卒 池谷 晋 新山 元秀	平成元年卒 関谷 晴彦 石田 政隆	白田 圭助 山川 優 山田 寛幸	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和57年卒 目片 雅喜 森 保二	平成2年卒 朝倉 伸二 石橋 雅信	山田 寛幸 渡辺 将常 薄 真理	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和58年卒 林 圭介 林田 尚之	平成3年卒 乾 健治 小原 隆史	高橋 彩 吉野 光治	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和59年卒 久保 智之 山本 健也	平成4年卒 高橋 功 内藤 竜一	吉野 光治	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜
昭和60年卒 松山 厚志 永野 巖	平成5年卒 高橋 輝 若杉 圭	吉野 光治	北野 万里香	平田 耕一	大田 彩葉 日花 奈々子 福島 沙帆 光田 真美子 毛利 宣子 八木 鞠菜

※敬称略 ※艇友会費を納入いただいた方および寄付金をいただいた方を掲載しています。



コーチングスタッフ紹介



女子コーチ

中來田 悠介

女子部コーチを担当しております。平成29年卒中來田です。2021年の成績としては4×でインカレ5位という結果でした。4×で5位という結果は目標であるメダル獲得にこそ届かなかったものの女子部として大きな進歩になったと感じています。

2022年についても変わらずインカレでのメダル獲得を目標としています。順位は着実に近づいていますが、まだ明確に差があるのも事実で、技術面・体力面それぞれでもう一段階レベルアップが必要です。人数が少なくなったことで部内の競争率が低くなりやすい状況なので、選手が妥協してしまうことがないように心掛けていきます。



コーチ

中野 昂士

2021年シーズンの途中からコーチを務めております中野昂士と申します。2021年シーズンは休止期間等があり、個人的には満足のいくシーズンではなかったと思っています。そのため、2022年シーズンはさまざまな変化に対応できる環境作りをしていくことで、学生により多くの良い経験をしてもらいたいと思っています。

各個人のレベルアップに留まらず、同志社大学ボート部全体のレベルアップを図れるようにしていきます。そして、「同志社大学ボート部に入部して良かった」と学生に思ってもらえるような指導をしていきます。

最後に、OBOGや保護者の皆さま、2022年シーズンも学生に、ご支援とご声援をよろしくお願い致します。

OB OGのみなさま **漕縁**
瀬田川でエイトを漕ぎませんか

クラブ会員募集中
WRRC
ワイルドローバーローイングクラブ

楽しく漕ぎたい方
コミュニケーション・コーチングのご用命は
人の輪 無限大 株式会社 **グランビス** 林田 尚之
nao@grandbisou.jp

そば 一品料理 **あづま**
大津市瀬田1丁目19-31 TEL:077-545-0011

カフェ・レストラン **アドリア**
湖岸道路唐橋下ル TEL:077-537-3355

極上生パ **スケルツォ**
今出川駅①番出口 徒歩3分
075-285-4380

女子部 **あみだ**
TEL:077-537-1780
FAX:077-537-1791
http://amisada.jp
〒520-0851 大津市唐橋町23-1 [瀬田唐橋中の島南側]

日頃よりボート部に温かいご支援、ご声援を賜りありがとうございます。『力漕』第29号の制作を担当いたしました新3回生マネージャーの島山麗香と申します。この度は『力漕』をご清覧いただき、誠にありがとうございました。

2021年は2020年に引き続き、新型コロナウイルスによる影響が多岐にわたり、活動制限や大会の延期等がありました。しかし、その環境下において西日本選手権、関西選手権、全日本選手権等の大会で多くのクルーが入賞しました。日本という目標には届かなかったものの、一人ひとりが今の己の力を出しきった結果だと思います。また、たくさんの差し入れや応援のお言葉を非常にたくさんの人々からいただきました。皆さまの温かい気持ちが届き、大変嬉しく思います。皆さまのご支援にこの場を借りて御礼申し上げます。

この第29号力漕は「いつもとは違った視点での『力漕』を届けたい」という思いで作成させていただきました。その思いから瀬田でのニュージランドのオリンピック選手の前合宿、今春から社会人漕手として活躍する西村雅親さんへのインタビューをDURCOトピックスとして執筆させていただきました。『隼より始めよ』

という言葉があるように、競技面や生活面において手近なことからは始め、実行することが大切だと改めて思います。

私事ですが初めてこの『力漕』を担当させていただきます。なにかを続けることの大切さを学びました。継続することは容易ではなく、それに向き合うことは極めて重要です。向き合わなければ例え継続しても中途半端なものになります。「差し詰めこのくらいでいいや」と自ら妥協すれば結果として出てきます。本気で頑張れる環境があるからこそ、妥協は一切せず、本腰を入れるべきだと私は思います。続ければ結果は出ます。結果が出ない時はまだその過程にあります。何のために練習をするのか、仕事をするのか。それらを会得することもまた大切だと思います。一人ひとりが誰かの役にたてるような土気の高い組織を作るためにも、日頃の小さな積み重ねを大切に

して過ごしていきます。

来年度も、今年度を超える飛躍を目指し、部員一同精進してまいります。これからも変わらぬご声援、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新3回生マネージャー 島山麗香



京のちりめん 問屋

京阪シルクは和装小物・雑貨・手芸素材の企画開発をしています。近年は特にちりめんに注力した素材を提供しています。各種ちりめんと京友禅の融合した伝統美をお楽しみください。

〒600-8108
 京都市下京区五条通西洞院東入ル
TEL:075-351-2340
FAX:075-351-4352

www.keihansilk.com/

同志社艇友会の皆さん、そしてボートを愛する全ての皆さんへ

一般社団法人ワイルドローパーローイングクラブ(WRRC)と一緒にボートを漕ぎませんか。昨年は瀬田川での練習と京都レガッタ、琵琶湖レガッタ、ヘッドオブ瀬田、鶴見川大学対抗、等に参戦してマスターズのボートを楽しんでいます。同志社のOBOG以外の方の参加も歓迎です。北海道、関東、関西、全国に仲間がいます。

一緒に漕ぎましょう。お気軽に連絡ください。

【連絡先】

林田 尚之(昭和57年卒) 080-6172-1104
 メール: fatbob_ nao@yahoo.co.jp

石橋欣也(平成10年卒) 090-8346-1574
 メール: wmrpt31414840116@gmail.com

営業力強化研修をご提案します！

研修実績: 大阪府庁、東京都庁、キッコーマン、野村證券、大塚商会、日本生命、富士通、NEC、日本経済新聞社、パソナ、大阪ガス、三菱UFJ銀行、ローソン、SMBCコンサルティング、他

小森コンサルティングオフィス 代表: 小森 康充(昭和60年卒)

URL <http://www.giantkevin.com> メール yasumitsu.komori@gmail.com

プロフィール: P&G等外資系企業で20年間の営業キャリア、その後神戸学院大学で客員教授に就任、2009年に営業力強化コンサルタントで独立。現在はビジネス社会の勝利と成功をサポートするため企業研修を年間150回実施している。著書に「スベらない商談力」「リーダー3年目からの教科書」等



同志社大学アルバイト紹介システム

短期・単発もあるよ！

学内のアルバイトも掲載！

いいバイトだけを厳選！

大学別のアルバイト情報が閲覧できる
学生アルバイト情報ネットワーク

大学
公認

学生の
ための
サイト

バイトネット



バイトネットは大学が設定した基準をクリアした安心、安全な
アルバイト情報のみを審査して掲載しています。

学生情報センター様広告

大人気！
試験監督や
塾講師

嬉しい
短期単発の
スタッフ募集

授業や部活
学生への
理解がある！

学内バイト等
他媒体では
見つからない！

新規登録方法

QRコードもしくは下記 URL よりサイトにアクセスし、
以下の手順に従って新規登録してください。

<https://www.aines.net/doshisha>



STEP1
開く

トップページから
新規登録画面を
開いてください。

STEP2
アドレス登録

e-mail アドレスを
登録してください。

STEP3
メール確認

ご登録いただいた
e-mail アドレス宛に
ID とパスワードが
届きます。

STEP4
ログイン

ログイン画面に ID と
パスワードを入力し
ログインしてください。

STEP5
検索！

希望のアルバイトが
見つかったら、直接
求人先に連絡して
ください。

We Find the Way



For Where You'll Go Next

すべてのビジネスには、成功へたどり着く最善の方法がある。それを見つけ出すためなら、いかなる努力も惜しまない。
NIPPON EXPRESSは、150年にわたる豊富な経験をもとに、48カ国で事業を展開するグローバル・ロジスティクスの
リーディング企業です。私たちが運び届けるのは、たとえば美術品、医薬品、半導体チップから航空エンジンまで、実にさまざま。
ネットワークと高度な専門性を活かした提案力で、複雑化するロジスティクスの最適解を見つけ出します。あなたの
ビジネスの進む先がどこであっても、いつも近くで支えてゆく。私たちは、NXグループです。 nipponexpress.com

NEX
NIPPON
EXPRESS
We Find the Way

2022年1月から日本通運グループは「NX」へ名称が変わりました。



WILD ROVER CREW
DOSHISHA UNIVERSITY



WILD ROVER CREW
DOSHISHA UNIVERSITY

力漕

vol.029

YEARBOOK 2021.11-2022.11

同志社大学

体育会ボート部